公益財団法人　日本ハンドボール協会 編
平成30年2月1日発行(毎月1回1日発行)　通巻576号

ハンドボール

2
FEB.2018
No.576

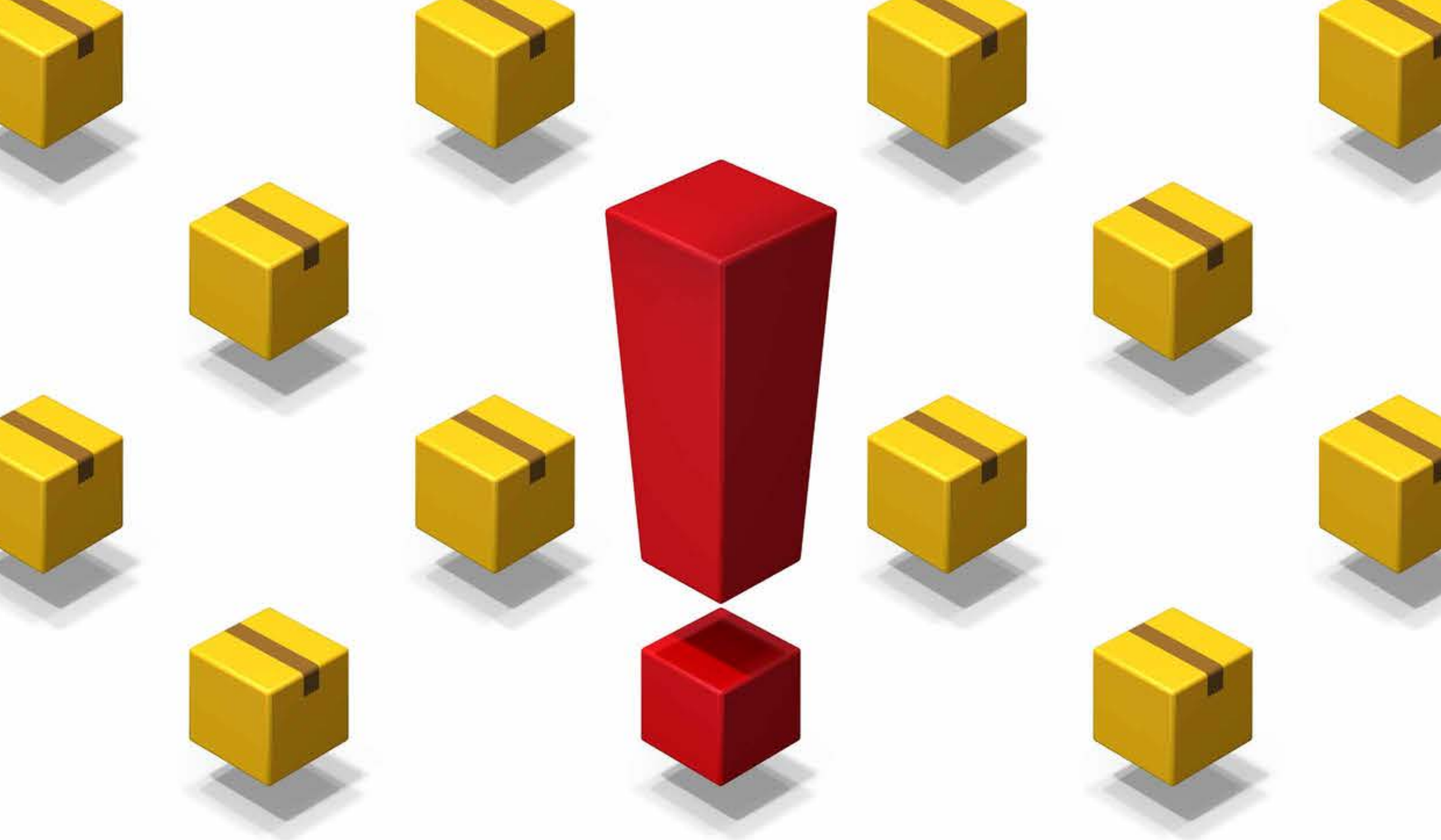


●第23回女子ハンドボール世界選手権

●平成29年度第69回日本ハンドボール選手権大会

●第26回JOCジュニアオリンピックカップ

公益財団法人　日本ハンドボール協会



世界が驚く、物流をつくろう。

東京2020大会を、物流から支えていきます。

TOKYO 2020

ヤマトホールディングス

TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー

詳しくはこちら http://www.yamato-hd.co.jp/tokyo2020/

世界が驚く、物流をつくろう。 検索

プレミアム・リゾートという選択

一戸建て住宅型有料老人ホーム





メディケアサポートHABA

2017年12月伊豆高原にオープン

12/1(金)より予約申し込み開始！

☎ 0557-51-7887 （担当　土屋・はば）

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズや、社有物件も展開！
待望の2020年『東京オリンピック』まで、いよいよカウントダウンが始まりました。
弊社も選手達と共に邁進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。



私達、株式会社ユリカコーポレーションは
女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202
TEL：03-3525-8986 / FAX：03-5295-8188　　http://yurika-co.jp/


5年連続、5つ星。
みなさまの日頃のご搭乗に、心より感謝申し上げます。
わたしたちは日本で唯一の5スター エアラインです。
おかげさまでANAは、2017年も英国のエアライン格付機関SKYTRAX社が主宰するエアライン・スターランキングで世界最高評価「5 STAR」を獲得いたしました。お客さまへの感謝の気持ちと日本で唯一の5スター エアラインとしての誇りを翼に乗せて、これからもみなさまを快適な空の旅にご案内いたします。
ANA Inspiration of JAPAN
A STAR ALLIANCE MEMBER
www.ana.co.jp
5 STAR AIRLINE
SKYTRAX
※2017年3月現在

ハンドボール 2月号 №576



【表紙の写真】平成 29 年度第 69 回日本ハンドボール選手権大会・女子優勝のオムロン

CONTENTS

がんばれハンドボール 20 万人会「サポート会員」12 月入会・継続会員

【茨城】海老原和子、前川千尋【千葉】金牧　稔【東京】大熊昌巳、岡前義春【神奈川】加古川範子【富山】吉水慎一【愛知】荒川健児、伊藤克美、野田　清、井田ゆかり【三重】細野秀男【滋賀】塚原清香、高畠典克【京都】守本幸三郎【大阪】山本伸二【兵庫】川原崎雅彦【鳥取】足立雄貴【広島】白石　隆【愛媛】小寺竜優、名越壮汰

次号 3 月号（№ 577）は 3 月 1 日発行予定です。

第23回
女子ハンドボール世界選手権

【開催期間】
2017年12月1日～12月17日
【開催地】
ドイツ・ハンブルグ他
【主催】
ＩＨＦ

[最終順位]

1位　フランス
2位　ノルウェー
3位　オランダ
4位　スウェーデン
5位　ロシア
6位　デンマーク
7位　モンテネグロ
8位　チェコ
9位　セルビア
10位　ルーマニア
11位　スペイン
12位　ドイツ
13位　韓国
14位　スロベニア
15位　ハンガリー
16位　日本
17位　ポーランド
18位　ブラジル
19位　アンゴラ
20位　カメルーン
21位　パラグアイ
22位　中国
23位　アルゼンチン
24位　チュニジア

日本代表女子選手団

チームリーダー
田口　隆
(公財)日本ハンドボール協会

チームマネージャー
栗山 雅倫
(公財)日本ハンドボール協会・東海大学


監督
ウルリック キルケリー
(公財)日本ハンドボール協会


コーチ
櫛田 亮介
(公財)日本ハンドボール協会・三重バイオレットアイリス

ドクター
井本 光次郎
(公財)日本ハンドボール協会・熊本赤十字病院


トレーナー
高野内 俊也
(公財)日本ハンドボール協会・(一財)日本予防医学協会


トレーナー
岩谷 美菜子
(公財)日本ハンドボール協会・ながい接骨院


分析
嘉数 陽介
(公財)日本ハンドボール協会


通訳
藤田 愛
(公財)日本ハンドボール協会


1
飛田 季実子
ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング


2
永田 美香
北國銀行


3
角南 果帆
ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング


4
角南 唯
北國銀行


5
塩田 沙代
北國銀行


7
藤田 明日香
ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング


9
横嶋　彩
北國銀行


12
板野 陽
広島メイプルレッズ


13
勝連 智恵
オムロン


15
多田 仁美
三重バイオレットアイリス


21
池原 綾香
Nyk_bing Falster (DEN)


23
安倍 千夏
ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング


24
原 希美
三重バイオレットアイリス


25
大山 真奈
北國銀行


27
佐々木 春乃
北國銀行


28
永田 しおり
オムロン


29
松村 杏里
ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング


30
亀谷 さくら
Vipers Kristiansand (NOR)


41
河田 知美
北國銀行

世界選手権を振り返って
女子日本代表チーム監督　ウルリック・キルケリー

女子世界選手権が2018年12月1日から17日までドイツで行われ、日本代表チームは世界トップレベルの6チームとの対戦をしました。

予選はブラジル、デンマーク、モンテネグロ、ロシア、チュニジアと強豪国がひしめくグループでしたが、私たちは予選グループ4位以内に入り、当初の目標であった決勝トーナメント進出を果たしました。

決勝トーナメントのベスト8戦では、オランダとの接戦で延長の末に敗退しましたが、そのオランダは今大会、銅メダルを獲得しています。

日本代表チームは、世界選手権に向けて数カ月前から準備と対策を重ね、どの試合に対しても共通理解をもって集中して臨むことができました。

今大会では、最後の1秒まで気の抜けないエキサイティングな接戦が多くありました。互角の戦いを制していくために今後必要な経験を、たくさん積むことができたと思います。大会ではチーム力が鍵を握りますが、今大会、チームは非常に高いレベルのチーム力を発揮できたと思います。

選手たちは、相手からのプレッシャーが強くかかる中、重圧をはねのけて実力を発揮できるということを見せてくれました。精神面でもフィジカル面でも、どんどんレベルアップしていることが実感できる大会となりました。

第1試合：ブラジル戦　戦術がうまく機能した初戦でした。世界トップレベルでの戦いができるということを見せた試合でした。同点という結果は納得できるものです。

第2試合：デンマーク　背の高いポスト2人を使った7人攻撃を仕掛けられ、苦戦しました。全体的に、強豪国とはフィジカル面でまだ差があるということを見せつけられた試合でした。

第3試合：モンテネグロ　ブラジル戦とよく似た試合でした。アグレッシブで速いハンドボールで、試合の大部分の流れをつかむことができました。

第4試合：ロシア　今大会、一番のパフォーマンスができた試合だと思います。

アタックでもディフェンスでもいいプレーができ、GK亀谷選手もすばらしかったです！

第5試合：チュニジア　この試合をとても誇りに思っています。絶対負けられないという点で、今大会一番重要な試合であり、精神的に非常に難しい試合でした。その中で、精神的なプレッシャーを完璧にコントロールできました。

第6試合：オランダ（決勝トーナメント・ベスト8決め）

よく頑張りました！　試合の立ち上がりが良くなかったのですが、試合中に組織を立て直すことができました。

このチームがもう少し経験を積めば、このような試合に勝つことができるようになるのだと思います。このチームにとって、素晴らしい世界選手権でした。

ディフェンスでは、組織力とタイミングが良く、6-0と3-3の両システムをよくコントロールして使い分けていました。GKの貢献もありました。

速攻で実力を出し切れないところがあったことは、今後の課題です。

アタックは、ほとんどの試合で速いスピードでプレーしながらも、簡単なミスを増やすことなく、よくコントロールができていました。

全体を振り返って、今大会でのパフォーマンスには一定の満足をしています。選手、スタッフともに全員がチームへ貢献し、将来のための経験をたくさん積むことができました。いい大会にはなりましたが、謙虚に気持ちを引き締め、これからさらに努力を重ねて、より良い結果へつなげていきます。

最後になりましたが、ご支援、ご声援くださいました皆様に心から感謝を申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。

世界選手権を振り返って

女子日本代表チーム主将　原　希美

まずはじめに、第 23 回女子世界選手権大会出場にあたり、ご支援いただきましたスポンサーの皆様、日本ハンドボール協会並びに各方面から様々なご尽力をいただきました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

12 月 1 日～ 17 日にかけてドイツで第 23 回女子世界選手権大会が行われました。私たちは世界選手権出場に向け、「ベスト８」という目標を掲げ、世界選手権に臨みました。

11 月 12 日から国内合宿がスタートし、20 日に日本を出発してから、スペインでの国際大会、オランダでのテストマッチを経てドイツ入りしました。短い準備期間ではありましたが、戦術面でチームとして徹底すべきことや選手・スタッフでコミュニケーションを大切にし、大会に向けて準備していきました。テストマッチとして臨んだスペイン国際では、自分たちの求めている内容のハンドボールができず全敗。オランダでのテストマッチもクラブチームに大敗を喫し、チーム全体に危機感が感じられました。そこで選手間でミーティングを行い、気持ちの共有、目指すべき所の共有をし、チーム一丸となって大会に入りました。

日本は、予選グループでブラジル・デンマーク・モンテネグロ・ロシア・チュニジアと戦いました。

初戦のブラジル戦では、相手のキーマンに挙げていたロドリゲスとアモリムに対して厚く守り、DF で流れを掴むことができました。OF では横の揺さぶりからカットインを狙い、得点を重ねていきました。終始リードしていましたが、試合終盤に同点に追いつかれ、試合終了となりました。

デンマーク戦では、日本のやりたいことを全くやらせてもらえず苦しい試合となってしまいました。前半で点差が開いてしまい、試合の中で修正することができず敗戦となりました。

モンテネグロ戦では、リードを許す展開が続きましたが粘り強い DF で流れを掴み、OF でもカットインを中心に退場を誘い１点差で勝利することができました。

ロシア戦では、苦しい場面の方が多く、点差を離される時間帯もありましたが、必死に食らいつき後半の終盤で同点に追いつくことができました。しかし、最後一歩届かず、１点差で敗戦となりました。

チュニジア戦では、ここに勝てば自力での決勝トーナメント進出ということもあり、緊張で固い入りとなってしまいましたが、ベンチ入りメンバー全員がコートに立ち大差で勝利することができました。

そしてＣグループ３位で決勝トーナメント進出が決まり、決勝トーナメントではＤグループ２位のオランダと戦いました。オランダ戦では３：3DF と６：0DF を使い分けながら機動力を生かした DF で互角に戦うことができたものの、延長戦にもつれ込むと個々の強さに圧倒され２点差での敗戦となり、ベスト 16 で終わりました。

今大会を通して、世界の強豪国を相手に十分勝負できるということを強く感じ、自信に繋がりました。個々の能力には世界との差はありますが、組織力ではどこの国にも負けていないと思います。

しかし、良い試合をしても勝ちきれない弱さも感じています。今大会試合を重ねるごとに、日本が分析されているなと感じる場面がたくさんありました。2019 年の熊本世界選手権、2020 年東京五輪では分析された中で戦わなければなりません。分析されている中でも勝ちきれる強さが必要だと思います。今大会でも試合中の修正力や対応力といった面では、課題がたくさんあります。うまくいかないときに短い時間で意思疎通し、それをプレーで表現することがすごく大切だと強く感じました。また、個々の能力・フィジカルの部分で世界との差を痛感しましたし、世界で戦う経験も積んでいかなければいけないと思いました。

そして、この悔しさを絶対に忘れず、2019 年・2020 年に向けて努力していきたいと思います。

最後になりましたが、皆様の日頃よりのご支援、ご協力そしてたくさんのご声援に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

戦　評

■予選ラウンド

ブラジル　28(12−15､16−13)28　日本

第 23 回女子世界選手権ドイツ大会の初戦となるブラジル戦が現地時間 12 月 2 日 17 時 45 分スローオフの笛で始まった。開始早々、日本は角南（果）がポストで退場を誘い 7m を獲得し、キャプテンの原が確実に得点、先制点を挙げる。開始序盤から GK 亀谷の 3 連続の好セーブなどにより 5 対 1 とリードを広げる。その後、一進一退の攻防が続き相手の退場に乗じ、池原のサイドシュートで 8 対 4 とリードを広げる。そして 13 分日本は DF システムを 3 – 3 に替えさらに相手にプレッシャーをかける。その DF システムが冴え、相手のパスミスを塩田が速攻で決めリードをキープ、その後 21 分ブラジルが DF システムを 5 – 1 に変更するが好調の池原がサイドシュートを確実に決め 14 対 7 とリードを更に広げる。しかし、ブラジルもエース 18 番の強引な突破による得点などで 15 対 12 と 3 点差までリードを縮められ前半を折り返す。

後半開始、日本は前半の終わりの嫌な流れを断ち切ったのが横嶋のカットインシュートであった。相手の 18 番に得点を許しながらも、日本は 7 人攻撃でリードを保ちながら終盤へ突入、ブラジル側も日本のミスを見逃さず、エースの 18 番を軸に食らいついてくる。日本は試合開始からリードを保ってきたが、後半残り 9 分でブラジルの連続得点により 2 点差まで追随される。しかしここでこの試合大当たりの GK 亀谷が連続で好セーブを見せ、角南（ゆ）から角南（果）への絶妙のポストパスで 3 点差に広げ勝利を手中にしたかと思われたが。しかし、粘るブラジルも大型 GK の好セーブにより決め手となるゴールを奪えなかったが、3 連続得点をあげ、29 分 30 秒で同点に追いついた。最後の日本の攻撃で日本のラスト DS を GK がセーブし、そのままブラジルの最後の攻撃でブラジル 18 番のシュートがゴールネットを揺らすが、その前に試合終了の笛が鳴りタイムアップ。日本が 28 対 28 で意地の引き分けに持ち込み勝ち点 1 をもぎ取った。この試合勝ち点 1 を獲得し、決勝トーナメントへの希望を繋いだ。　（齊藤慎太郎）



■予選ラウンド

日本　18(5−16､13−16)32　デンマーク

国際大会ではここ数年同グループに入ることが多かった両チームだが、ウルリック監督の母国であるデンマークに対しては十分な分析をして望んだ。日本のスタートは LW 松村、RW 池原、LB 原、CB 横嶋、RB 角南（ゆ）、PV 角南（か）、GK 亀谷の布陣で臨んだ。スローオフはデンマークからの攻撃、いきなり 7 人攻撃で日本のオープンディフェンスを崩しにかかる。しかし、先制点は日本、相手のシュートミスから塩田の速攻で 1 点目をあげる。すかさずデンマークもエース 31 番の DS で追いつくと、角南（ゆ）のブラインドシュートや大山の 7m スローなどで 3 対 2 と 1 点のリードを奪う。デンマークもポストサイドでシュートチャンスを作るが GK 亀谷の好セーブでなかなか追加点を奪えない。ここでデンマーク大型のポストの 1 対 1 で日本の退場を誘い有利に試合を進める。前半 11 分日本が初めてのタイムアウトを要求、その後もデンマークは高い日本の DF に対してポストにボールを集中させて 1 対 1 で突破を狙う。亀谷のファインセーブも随所に見られたが、10 分過ぎから 12 連続得点で大きく差を広げられて前半を終了した。

後半日本は、角南（ゆ）のアンダーハンドからのシュートで得点をあげ、途中 7 人攻撃をしかけるなど、何とか点差を縮めたいところだが大事な所でのテクニカルミスでなかなか点差が縮まらない。逆にデンマークは着実にシュートを決め試合を更に有利に進める。日本は多田や佐々木、大山などの活躍も見せたが、いかんせん前半につけられた大差が影響し終わってみると、32 対 18 と大きく差を付けられて敗れた。大型ポストに対する守り、オフザボールでの切りなどデンマークは最後まで自チームのやることを徹底してきた差が表れた試合だった。　（齊藤慎太郎）



■予選ラウンド

モンテネグロ　28(15−12､13−17)29　日本

1 敗 1 分の日本と 1 勝 1 敗のモンテネグロとの一戦はモンテネグロのスローオフでスタートする。開始早々、両チームともミスが続く中、モンテネグロの RW のサイドシュートで最初の得点を挙げる。日本も負けじと池原の RW からのシュートですぐに追いつくと GK 亀谷の好セーブで相手のチャンスを抑え、永田の PS、松村の SS で 4 対 3

戦　評

とリードする。その後池原が退場し、２回のノーマークをGK 亀谷がまたしても好セーブで日本のピンチを救う。11分過ぎモンテネグロはGKを下げ７人攻撃で日本を攻める。モンテネグロの DS が決まり４対６となったところで日本はタイムアウトを申請。その後日本は７人攻撃で得点を重ね、原の７m のリバウンドを松村が決め、モンテネグロの FB を GK 亀谷がファインセーブすると、角南（ゆ）の鋭いフェイントでの１対１で７対 10 と追いすがる。亀谷の好セーブで日本は苦しい場面をなんとか食らいつく。26 分松村の LW からのシュートで 12 対 13 と１点差まで近づくが、大事な場面で大型ポストに強引にねじ込まれ、前半を 12 対 15 の３点ビハインドで折り返す。

後半に入り松村、池原の SS で１点差に猛追する。後半６分日本は 4-2DF にシステムを変更し相手のオフェンスにプレッシャーをかける。佐々木の BT、池原の SS で再び１点差に迫る。10 分モンテネグロの連続退場、日本はこのチャンスをものにし池原の連続SSで同点に追いつく。その後角南（ゆ）の獲得した 7m を原がしっかりと決め久々のリードを奪う。そこからは一進一退の攻防が続き、大事な所で角南（ゆ）の３連続得点でリードを保つ。残り１分30 秒モンテネグロが意地の同点にすると残り 40 秒で横嶋が DF の間を強引にねじ込み１点のリード、最後のモンテネグロの攻撃を抑えた日本は、待望の１勝を挙げた。ベストプレーヤーオブザマッチにこの日９得点を挙げ日本の勝利に貢献した池原が選出された。（齊藤慎太郎）



■予選ラウンド

ロシア　29(13−11､16−17)28　日本

Ｃグループ第４戦目の対戦相手は、ここまでグループ全勝で、リオデジャネイロオリンピック金メダルの今大会優勝候補のロシアであった。日本は LW 松村､LB 原､CB 横嶋、RB 角南（ゆ）、RW 池原、GK 亀谷の布陣で望んだ。

スタートはロシアの SS で幕を開けると、すかさず日本も松村の SS で取り返す。塩田の退場でビハインドの中、日本は亀谷の連続の SS のファインセーブ、簡単に得点を与えない。７分過ぎまで均衡が破れない中、日本のキャプテン原の BT により日本は２対１とリードする。しかし、ロシアもすぐに 7m スローで追いつくと、体格を生かした BT、PS で連続得点を挙げる。９分 16 秒日本はここでタイムアウトを請求し、再度落ち着きを取り戻すと、松村の SS と今大会絶好調の角南の華麗なフェイントからのシュートで４対４の同点に追いつく。ここからロシアが得点すると日本が取り返す展開で点差をキープする。20 分大山の７mT で８対８の同点に追いつくと、ロシアがタイムアウトを請求。日本の勢いは止まらず連続得点で 10 対８とリード。ロシアも５連続得点で 10 対 13 と再度ひっくり返す。日本は池原の SS で 11 対 13 とし前半終了。

後半も立ち上がりお互い GK の好セーブで 34 分まで得点が入らない。後半の先制は横嶋のインターセプトからの得点で１点差にすると池原、角南（ゆ）が得点を重ねる。ロシアも豪快な DS で徐々に点差を広げ、日本は横嶋の３回目の退場のレッドカードなどで失点を重ねる中、43 分にはこの日最大の５点差をつけられる。しかし、ここから脅威の粘りを見せる日本は角南（ゆ）のフェイントからの展開や絶妙なタイミングでのアウトへの BT などで追いすがる。３点差で残り 90 秒、ロシアの退場で日本がチャンスを掴むと、池原から佐々木へのスカイ、原の 7mT で１点差に追いつくが、日本ラストの攻撃が惜しくも失敗に終わった。１点差で敗れはしたが試合内容は、日本の大健闘を讃える会場の拍手が物語っていた。MVP は小柄ながら大型選手と互角以上に渡り合った角南（ゆ）が受賞した。

（齊藤慎太郎）



■予選ラウンド

日本　31(15−6､16−7)13　チュニジア

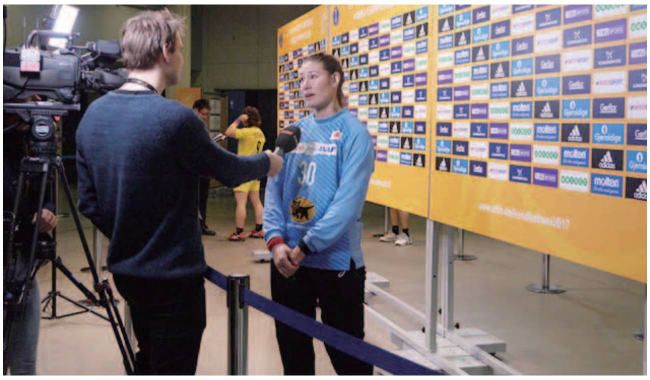
予選ラウンドＣグループ、日本の最後のゲームは現在０勝５敗のチュニジアとの一戦であった。この試合の勝敗及び得失点差が決勝トーナメント進出へのポイントとなる重要な試合であった。日本のスターティングメンバーは、GK 亀谷、LW 松村、CB 横嶋、LB 原、RB 角南（ゆ）、RW 池原、PV 角南（か）であった。

スローオフは日本、しっかりと DF を広げながらテンポの良いパスワークから横嶋の BT で１点目を挙げる。角南（か）BT、原の 7m スローなどで連続得点を挙げ３対

戦　評

0とリードする。対するチュニジアは現時点での得点ランキング5位に位置する20番のエースに、鋭いDSを決められ3対1となる。ここで日本は7人攻撃をしかけ原のBT、松村のFBなどで得点を重ねる。チュニジアもチャンスでノーマークを作るが、日本の守護神の亀谷にことごとくセーブされる。15分過ぎ日本はDFシステムを高めに変更、角南のPSで7対4にするがすぐさま20番のDSで7対5と食らいつかれる。ここで日本が最初のタイムアウトを申請する。しかしチュニジアがリバウンドを決めて7対6の一点差に肉薄。さらにチュニジアはFBでチャンスを作るが、亀谷がノーマークシュートを連続でファインセーブすると、日本は佐々木のBTから怒濤の8連続得点を見せ15対6と一気に9点差で前半を折り返す。

後半に入ると、日本のパスミスからFBでチュニジアが15対7とする。39分横嶋のBTで19点目を挙げると、チュニジアもポストやBTでノーマークシュートを放つが3連続で亀谷に阻まれる。23分佐々木の鋭いクイックでのDSがゴール左隅に決まると28対13に得点差を広げ、最後は大山、永田の得点で31対13としゲームセット。日本はベンチ入りメンバーを全員出場させる余裕を見せチュニジアに大勝し、決勝トーナメントの出場権をもぎ取った。この試合のベストプレーヤーオブザマッチは安定した守備を見せたGKの亀谷が受賞した。決勝トーナメントでもスーパーセーブを期待したい。（齊藤慎太郎）



■Eighth-Finals

日本　24(10−10、10−10、4−6)26　オランダ

日本にとって2大会ぶりの決勝トーナメント初戦は、先のリオ五輪最終予選で惜しくも敗れたオランダとの対戦となった。日本のスタートは、LW松村、LB原、CB横嶋、RB角南（ゆ）、RW池原、GK亀谷。オランダの中心選手は世界最終予選と大きく変わらず、中央に高い壁を並べた6-0ディフェンス。対して日本は高いラインでプレッシャーをかける攻撃的なディフェンスでスタートした。最初の得点はオランダHEIJDEN。フィジカル差を活かした押し込み気味の1対1で強引に得点をもぎ取ると、コントロールタワーのGROOTがフリースローで日本ディフェンスラインを押し下げ、小気味よいDSで2点目をとる。日本ディフェンスの特徴をよく観察していることが伺えるオランダの出だしである。対して日本はセットオフェンスで苦しいシュートを強いられ、リズムが作れない。テクニカルミスからの速攻が重なり、前半4分までに1対4とリードを奪われる。ところが日本は、素早いトランジッションからの速攻や、相手ディフェンスが整わない状況でのポストプレイなど、体格で勝負しない戦略が今大会に入り世界水準で安定感を増している。堅実なディフェンスでオランダの得点のリズムを止めると、サイド池原の連続得点、ポスト永田の執念のシュートで地道に点を重ね、前半20分には7対7の同点とした。20分以降は両チームにとって渋い時間帯が続くが、亀谷の神がかり的キーピングでオランダの連続得点を許さない。セットオフェンスでのリズムを変えるため、ウルリック監督は大山を投入。すかさず角南が大山とのクロスからDSが決め、さらに直後のオランダ7人攻撃では亀谷がナイスキープからのGKシュートを決め、この日初めてのリードを奪う（10対9）が直後に失点し10対10の同点で折り返すも我慢の時間帯からリズムをつかむ展開となった。

永田しおり退場でスタートした後半早々、原がカットインで得点。オランダは徹底した7人攻撃で日本ディフェンスを下げてDSを狙う戦略をとるが、日本も徹底して素早い横の展開から“ずれ”を生み、機動力と低さを活かした攻撃を展開する。その中でポスト角南、サイド松村、池原が活躍し、一進一退の展開となった。ところが後半15分以降、オランダが1失点を挟む5連取で、残り5分で3点のビハインドとなる。非常に苦しい展開になるも多田、横嶋による3連取で食らいつき、20対20の同点で延長戦へ。

延長前半、原の7mスロー成功で得点するもののセットでのテクニカルミスが重なり日本にとってリズムがつかみにくい立ち上がりとなった。対してオランダはBROCHのポスト、POLMAN、GROOTのDSで小気味よく得点を重ね、リズムを掴み、2点差とする（21対23）。延長後半、日本は粘り強いディフェンスで立ち上がりのオランダの攻撃をしのぐも機動力の低下が否めなかった。池原、佐々木らの得点でオランダに迫るも、オランダもSMEETSやPOLMANの得点で差を詰めさせず、24対26でのタイムアップとなった。

今大会、日本代表女子チームは世界の強豪相手に自分たちのハンドボールを展開し、確実な成長を示した。会場全体から感じられる「日本チームなら何かやってくれるかもしれない」という期待感からも、その成長が確かなものであると感じられる。ただし、あと1点の差に泣く試合を多く経験したのも事実である。その1点に直結するミスや失点をしっかりと認識し、さらなる成長の糧としたい。2019年熊本、2020年東京に向けて次のステップを踏み出す為、女子日本代表チームには胸を張って帰国して欲しい。（小笠原一生）

第23回女子世界選手権オールスターチーム

レフトウイング：Siraba Dembele —フランス
レフトバック　：Lois Abbingh —オランダ
センターバック：Grace Zaadi —フランス
ライトバック　：Nora Mork —ノルウェー
ライトウイング：Nathalie Hagman —スウェーデン
ピボット　　　：Yvette Broch —オランダ
ゴールキーパー：Katrine Lunde —ノルウェー

得点王：Nora Mork —ノルウェー（66 ゴール）
ＭＶＰ：Stine Oftedal —ノルウェー



MVP の Stine Oftedal（ノルウェー）

大会終了後の記者会見から

総括

総試合：84 試合（4,384 ゴール）、開催期間 17 日間、6 つの会場で開催された大会だった。

ハイライト：Facebook（facebook.com/ihf.info）の合計インプレッション数は 6,676,827、YouTube インプレッション数は 160 万人、YouTube 視聴時間は 145,214 時間だった。

公式／レファレンス

16 名の審判組が選出されたが、女性 5 ペアと男性 11 ペアであった（女性 31.25%）。3 位決定戦（ロシア）と決勝戦（デンマーク）は何れも女子ペアの審判が吹いた。

アンチドーピング

6 つの会場全部で 112 回のテスト（競技では 80、競技外では 25、オールスターチームでは 7）が行われ、すべてが陰性であり、公正なプレー、クリーンさが確保された。

出席

合計観客数：237,263 人。女子大会ではで 2 番目に多い結果となった（過去の世界選手権：デンマーク 2015：165,000 人、セルビア 2013：95,120 人、ブラジル 2011：68,050 人、中国 2009：103,000 人、フランス 2007:397,550 人（レコード)、ロシア 2005:61,350 人)。

次回大会：JAPAN 2019　熊本

日程：2019 年 11 月 30 日（土）～ 12 月 15 日（日）
熊本県の 3 つのホスト都市：山鹿市、熊本市、八代市
参加国：24　**スタッフ**：3,000 名
試合数：96（新形式）　予選 60、メインラウンド 20、セミファイナル 2、ファイナル 2 と 3 位決定、プレジデントカップ 12

2019熊本でお待ちします！

湧永寛仁・日本ハンドボール協会会長から挨拶がありました。

「2019 年 IHF 女子世界選手権を日本の熊本で発表する機会をありがとうございます。私はちょうど 10 月に JHA 新会長に任命されました。大変な成功をした今回の世界選手権と組織された運営に接し、IHF のハッサン・ムスタファ会長とドイツハンドボール協会（DHB）を祝福したいと思います。私たちは今 2019 年の準備作業に入っています。約 2 年前の熊本では地震がありましたが、チャンピオンシップに備えるために全力を尽くしています。すべての試合は熊本県で行われます。ドイツにいる間は特に観客のプロモーションやチケット販売を視察しました。私はここでハンドボールの試合を見る機会がたくさんありましたが、ドイツのハンドボールファンからスポーツを楽しむ方法を学んだことを、今後のプロモーションに取り入れようとしています。女子の世界選手権で最も多くの観客動員をターゲットにしたいと考えており、2019 年の記録を達成するために最善を尽くします。ハンドボールファンには世界各地から、熊本にお越しいただきたいと思っています。 私たちが使っている言葉は「オモテナシ」です。私たちは熊本で皆様をお待ちしており、2019 年にお会いできるのを楽しみにしています。」



インターナショナルマッチ
（アジア選手権壮行試合）

選手名簿

番号	名前	所属
1	佐々木亮輔	豊田合成
5	酒井翔一朗	トヨタ紡織九州
7	宮﨑大輔	大崎電気
13	笠原謙哉	トヨタ車体
14	小賀野龍也	湧永製薬
15	部井久アダム勇樹	博多高校
17	植垣健人	大崎電気
18	成田幸平	湧永製薬
19	徳田新之介	筑波大学
20	渡部　仁	トヨタ車体
21	土井杏利	シャルトル・メトロポール・ハンドボール28
24	信太弘樹	大崎電気
25	元木博紀	大崎電気
27	玉川裕康	国士舘大学
33	東江雄斗	大同特殊鋼
44	門山哲也	トヨタ車体

開催期日　2018年1月13日
開催地　東京都立川市
主　催　公益財団法人日本ハンドボール協会
主　管　東京都ハンドボール協会
会　場　アリーナ立川立飛









日本　20(8−10、12−11)21　バーレーン

日本のスローオフで試合開始、3分40秒で元木が速攻から先取点を決めた。10分過ぎバーレーンが1人退場中に土井がサイドから鮮やかなスピンシュートを決め会場が沸く。しかし、その直後に小賀野が退場となり、バーレーン・ハッサンのポストシュートで5対5とした。20分過ぎ1点ビハインドで迎えた日本、7人攻撃から部井久がロングを決め6対6とする。日本のミスから2連続速攻となるがこれを甲斐が見事にシャットアウト。7人攻撃を行う日本だったがミスを重ね、2連続で無人のゴールに得点を取られてしまう。29分過ぎには7対10とされてしまうが、残り1秒で速攻から渡辺がゴールを決め8対10で前半を終えた。

後半開始成田が退場となり7mTを取られたが、1番佐々木が見事にセーブする。バーレーン・モハメド、アリがシュートを決め11対14としたところで後半10分が過ぎる。14分過ぎにも徳田がミドル、ロングシュートを決め15対15の同点とした。後半20分に宮﨑、成田、徳田の3連取により19対17と日本が逆転した。その後もバーレーンがノーマークのチャンスを迎えるがGK佐々木が見事なセーブを見せた。後半27分過ぎバーレーン89番、7番のロングシュートが決まり残り30秒で同点とされた。残り5秒宮﨑がシュートを打つがこれが決まらず、逆速攻となってしまう。酒井は体を張って止めるも、無念の退場。残り3秒。最後はフサインのステップが無情にもゴールに入り試合終了となってしまった。





平成29年度第69回日本ハンドボール選手権大会

開催期間　2017年12月19日～12月24日
開催地　大阪府・大阪市、八尾市 / 京都府・京田辺市 / 奈良県・生駒市
主　催　（公財）日本ハンドボール協会
会　場　田辺中央体育館、生駒市民体育館、八尾市立総合体育館、大阪市中央体育館

最終順位

【男子】
優　勝　大崎電気
準優勝　トヨタ車体
３　位　湧永製薬、トヨタ自動車東日本

【女子】
優　勝　オムロン
準優勝　北國銀行
３　位　三重バイオレットアイリス、広島メイプルレッズ





第69回日本ハンドボール選手権大会を終えて

大阪ハンドボール協会理事長　繁田 順子









平成 29 年度第 69 回日本ハンドボール選手権大会を、12 月 19 日～ 12 月 24 日の 6 日間の日程の内、12 月 19 日～ 21 日までの男女 1 回戦～ 3 回戦を大阪府八尾市立総合体育館、京都府田辺中央体育館、奈良県生駒市民体育館と初めて 3 府県に分かれて開催した。12 月 22 日～ 24 日まで男女準々決勝・準決勝・決勝戦を大阪府大阪市中央体育館で開催した。

出場チームは、男子は日本リーグ 9 チーム・クラブチーム 9 チーム・大学生 6 チームの計 24 チーム、女子は日本リーグ 9 チーム・クラブチーム 4 チーム・大学生 5 チーム・高校生 2 チームの計 20 チームを迎え、大阪府では第 64 回大会以来 6 年ぶりに開催しました。

試合において特筆すべき事は、男子は福岡大学・筑波大学・国士舘大学・日本体育大学の大学勢が健闘し 3 回戦まで進出した。女子は大阪体育大学が準々決勝で日本リーグのオムロンに対し試合を終了間際まで優勢に進めたが惜しくも敗れた。また、大阪教育大学も日本リーグのソニーに対し一進一退の互角の戦いをしたが今一歩力が足りなかった。これら大学生チームの健闘によって大会が大いに盛り上がる事が出来た。また、高校生の岩手県立不来方高等学校、明光学園高等学校の 2 チームが出場し、溌剌としたプレーを見せてくれた。

試合内容については、男子準決勝大崎電気対湧永製薬は、大崎電気が前半堅守で湧永製薬の攻撃をしのぎ速攻で得点を重ね 10 点差をつけて前半を終了。後半両チームとも防御からの速攻で得点を挙げるが大崎電気の GK の好セーブに湧永は得点を阻まれ、前半の得点差がものをいい大崎電気が 33 対 20 で勝利した。トヨタ車体対トヨタ自動車東日本は、前半開始から両チーム得点の取り合いが続いたがトヨタ車体は堅守でトヨタ自動車東日本を突き放し前半を 9 点差で終えた。後半もトヨタ車体は堅守と速攻をおりまぜた多彩な攻撃で相手を圧倒し、トヨタ自動車東日本も追い上げ及ばず 32 対 20 で勝利し決勝へ進んだ。決勝は連覇を狙う大崎電気と

トヨタ車体の対戦となった。決勝戦の緊張からか重苦しい展開となったが、トヨタ車体のミスから大崎電気の速攻が決まりだし前半を大崎リードで折り返した。後半はトヨタ車体GKの好セーブや大崎電気の元木の得点など一進一退の攻防となったが、終了間際に車体が7mTで同点となり延長戦になった。延長戦は後半に車体吉野の退場が痛く大崎電気がからくも1点差で逃げ切り連覇を遂げた。最優秀選手は大崎電気元木博紀選手が獲得。

女子準決勝北國銀行対三重バイオレットアイリス戦は前半20分までは三重が防御を頑張り一進一退であったが残り10分で北國銀行が点数を重ね6点差で前半を終えた。後半北興銀行は堅い守りから速攻を決め25対16と地力に勝る北國銀行が勝利。オムロン対広島メイプルレッズ戦はオムロンが堅い防御で広島の攻撃を押さえカットイン攻撃などで着々と得点を重ね7点差で前半を終えた。後半広島のGKの好セーブが光り途中1点差まで得点を詰めたが前半の7点差を守りオムロンが19対18で勝利した。決勝は昨年と同じ対戦のオムロン×北國銀行となった。前半北國銀行の多彩な攻撃とGKの好セーブに対しオムロンはミドルで対抗したが北國3点のリードで前半を終えた。後半始まりにオムロンがロングやポストシュートで連続得点し逆転その後得点を重ね合ったがオムロンGK宮川が7mTを連続セーブして流れをつかみ20対19の1点差で勝利し連覇を果たした。最優秀選手はオムロン宮川裕美選手が獲得。

特に女子決勝は審判の太田・島尻ペアをはじめJHAオフィシャル・TD・スコアラー・モップ係にいたるまで全て女性によって試合を運営しました。

最後に、今大会は大阪府を中心に京都府・奈良県と分散開催にあたり、会場の設営、選手の移動や役員の派遣など不安なこともありましたが、公益財団法人日本ハンドボール協会、近畿協会、大阪協会、京都府協会、奈良県協会をはじめハンドボール関係者の皆様のご協力や、ご協賛をいただきました関係団体、関係各社、報道各社に感謝するとともにお礼申し上げます。また、チーム関係者だけでなく、小学生・中学生・高校生・一般の方々の多くのハンドボールファンに観戦していただき盛大に大会を終えることができました。

ありがとうございました。











男子　大崎電気　優勝

大崎電気ハンドボール部監督　岩本 真典

はじめに、第 69 回日本ハンドボール選手権大会を開催するにあたりご尽力いただいた大阪ハンドボール協会、（公財）日本ハンドボール協会、ならびに関係各位の皆様に改めて心より厚く感謝、御礼申し上げます。

この度、私たち大崎電気は第 69 回日本ハンドボール選手権大会において２年連続１４回目の優勝を果たすことが出来ました。これも一重に日頃から大崎電気ハンドボール部を支えてくださっている渡辺オーナーをはじめ社員の皆様、そして多くのファンの方々や大崎電気ハンドボール部関係各位の皆様の力あってこその結果だと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

そして何より優勝という文字に飢え、日々のトレーニングにおいて切磋琢磨し選手間での競争を闘い抜いた 21 名の選手の努力の賜物だと思っています。選手には日頃から FOR THE TEAM! THINKING HANDBALL! というチームスローガンの下、指導しております。

今大会は 18 名大会登録（16 名ベンチ登録）しか出来ず、外国人登録も大会要項が出た後に変更になり、また日本リーグの過密日程も重なり、どのチームも怪我人が多く、大会に向けての準備の変更を余儀なくされました。決勝戦までの３試合、試合に出場している選手は勿論、ベンチ登録を外れた５名の選手もチームの為に最善を尽くし、選手 21 名がひとつになって大きな力を発揮し、個々の役割を徹底してくれたことに感謝しております。

しかしこれを継続しなければ意味がないと思っています。今大会は大崎電気として２年連続の優勝でしたが、チームの目標である東アジアクラブ制覇に向け今期最終のタイトルも獲るべく、更なるステップアップを目指します。これまで以上の努力を重ねて 21 名の選手、誰が出場してもチーム力が落ちないチームを目指し、国内で継続して勝てるチーム、世界に通用するチームを目指して日々精進していきます。

今後ともご支援、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。そして大崎電気ハンドボール部を今後とも宜しくお願い致します。

大崎電気ハンドボール部主将　岩永　生

12 月 19 日～ 24 日まで開催された第 69 回日本ハンドボール選手権大会において私たち大崎電気は２年連続 14 回目の優勝を果たす事が出来ました。これも日頃から大崎電気ハンドボール部を支えてくださっている社員の皆様、遠征や合宿などで家を空ける事が多い私たちに理解と協力をしてくれている家族、そしていつも大きな声で大崎電気を応援してくださるサポーターの方々のおかげだと思っています。この場を借りて感謝申し上げます。

今大会大崎電気は準々決勝（４回戦）が初戦となりました。初戦の相手は韓国代表選手２人を補強して日本リーグでも勝ち星を増やしているトヨタ紡織九州でした。初戦ということで多少チグハグな部分もあり点の取り合いの試合となりましたが、最終的に 32 対 30 の僅差で勝利する事ができました。準決勝は湧永製薬との試合で前半から大崎電気のスタイルである「守ってからの速攻」が機能して前半終了時点で 16 対 6、最終スコアは 33 対 20 と会心の試合運びができて決勝へ進む事が出来ました。決勝は昨年と同じくトヨタ車体との対戦となりました。トヨタ車体とは昨年の日本ハンドボール選手権では延長戦で１点差での勝利、今年の日本リーグでは２回対戦して１勝１敗でどちらも１点差と力が拮抗しています。この試合も前半から一進一退の接戦になり後半が終了しても決着がつかず２年連続の延長戦となりました。延長戦前半の終了間際には小室が値千金のパスカットからの速攻を決め、延長後半の勝負所で小澤が体を張ってリバウンドを取り、最後はエースの信太が決勝点を決めて１点差で勝利する事ができました。今大会はかろうじて優勝する事が出来ましたが、各チームの力は拮抗してきています。大崎電気の目標でもある東アジア制覇に向けて、まずは国内のリーグ戦を勝ち抜き、プレーオフで３連覇できるように頑張りたいと思います。

最後になりますが今大会を開催するにあたりご尽力いただいた大阪ハンドボール協会、日本ハンドボール協会、並びに関係各位の皆様に改めて心より感謝申し上げます。



女子　オムロン　優勝

オムロンハンドボール部ヘッドコーチ　黄　慶泳

第 69 回日本ハンドボール選手権大会において、2 年連続 19 回目の優勝を勝ち取ることができて素直に喜んでおります。

今シーズンが始まり社会人大会や国体で勝てない時期が続いて大変申し訳ない気持ちで過ごしていましたが、今大会で皆様方に優勝のご報告ができて心から安堵しています。

会社の全面的なご支援は勿論のこと、負け続けていても声援を送ってくれた OG も含めたサポーターの方々、会場まで足を運んで応援してくれた方々、『チームオムロン』皆様方の思いとご支援が優勝の原動力であったと思います。心より感謝申し上げます。

女子世界選手権の為に日本リーグ一時中断がありましたが、その期間がチームをもう一度基本から立て直せるチャンスでもあり、成長できた期間でもありました。徹底して走り込みを入れながら県内男子高校チームの協力を頂き、合同練習を通してチーム強化ができたことが大きかったと感じています。大会を通して準々決勝から３試合連続で一点差の勝負を勝ち抜いていけたことは、県内の男子高校との練習のおかげだと思います。

チーム強化にご協力を頂いた各チームの皆様方には心より感謝申し上げます。

今大会ではベテラン選手がチームを引っ張り、若手と中堅選手が試合ごとに大事な場面で力を発揮できるようになったことが大きな収穫であります。今後はこの大会で得た課題と収穫を糧に更にチーム力を上げ、日本リーグ王座奪還に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続きご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、大会の運営にご尽力頂きました関係者の皆様方にお礼を申し上げまして大会優勝のご報告と致します。本当にありがとうございました。

オムロンハンドボール部主将　永田 しおり

12 月 19 日～ 24 日まで大阪府・京都府・奈良県で第 69 回日本ハンドボール選手権大会が行われました。

初戦は JJ GANG と対戦。スタートからペースを掴むことが出来ず、苦しい時間帯が続いたがディフェンスから速攻で得点を重ね、26 対 14 で勝利。

準々決勝は、大阪体育大学との対戦。立ち上がりからペースが掴めず、点の取り合いになり、３点を追いかける形で前半を終えました。後半は個々の役割を確認して果敢にゴールを狙い、連続得点をあげて残り７分でリードする。残り２分で７人攻撃を仕掛け、確実に得点し、23 対 22 で勝利。

続く準決勝は、広島メイプルレッズとの対戦。前半はオムロンのディフェンスが機能し、13 対 6 で前半を折り返す。しかし、後半は攻撃のミスが続き、得点が奪うことが出来ず、ラスト５分で５失点を許してしまいました。時間と得点のゲームコントロールに課題に残りましたが 19 対 18 で決勝に駒を進めました。

決勝戦は昨年同様、北國銀行との対戦。序盤から一進一退の攻防になりましたが、相手 GK に阻まれ得点できず、その間に相手に得点を許し、９対 12 で前半を折り返す。攻守の狙い目を確認して臨んだ後半戦スタートから速攻で相手に退場者が出るとその隙を逃さずに連続得点をあげ逆転に成功する。お互い一歩も譲らない攻防が続き、相手に流れが傾きかけた時に宮川が７m スローを２本止め、相手に得点のチャンス許さず、残り３分で勝ち越し。28 分に東濱が得点して２点差とする。最後に失点されるが 20 対 19 で２年連続 19 回目の優勝を飾ることが出来ました。

３試合連続の１点差の勝利。得点出来なくても粘り強く守りロースコアで勝負するオムロンの戦い方が決勝で出来ました。また、選手全員がそれぞれの役割を徹底し優勝できたと思いますが、まだ攻撃に課題もあります。今回の優勝に満足することなく、再度チーム全員で足元を見直し、更にチャレンジし続けて参りますので今後ともご声援の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今大会にあたりご尽力いただきました協会関係者の方々、応援して頂いた皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

戦況：男子準決勝

大崎電気　33(16−6、17−14)20　湧永製薬

湧永・仁平のカットインで始まる。即座に大崎・岩永のブラインドシュートが決まり同点となる。その後大崎はセンターラインの高い DF から速攻で得点を重ねる。一方、湧永は成田を中心に攻撃を展開するも大崎の堅守により、10 点の大差をつけられ、前半を終えた。

後半立ち上がり大崎・信太のミドルシュートで後半が開始する。一進一退の攻防が続くが、中盤大崎・木村の好セーブから、大崎はリードを保つ。湧永は前半に引き続き、成田を中心とする DF からの速攻で点を重ねるも前半の点差が縮まらず、大崎が勝利をおさめた。

戦況:男子準決勝

トヨタ車体　32(16−7、16−13)20　トヨタ自動車東日本

トヨタ自動車東日本・堤のブラインドシュートで試合が始まる。トヨタ車体も取り返すが、序盤一進一退の攻防が続く。その後車体は笠原を軸に堅守が続き、前半 25 分過ぎに 10 点差をつける。東日本は山田を中心にパワープレーを試みるが、得点が伸びず、16 対 7 の車体リードで前半を折り返す。

東日本・遠山がゴールの口火を切る。しかし、車体も粘り強く守り、一進一退の攻防が続く。杉岡のサイドシュートで流れを掴んだ車体が加藤の好セーブもあり、更にリードを広げる。東日本もクロスプレーからシュートを狙うが、追い上げ及ばず、32 対 20 で車体が決勝進出を決めた。

戦況:男子決勝

大崎電気　31(12−9、15−18、3−1、1−2)30　トヨタ車体

車体のスローオフで始まった決勝戦。立ち上がり、両チームともに動きが重い。ポストの連携がうまくいかない。大崎、かかんにゴールを狙うも車体 GK の加藤の好セーブに阻まれる。一方、車体・木切倉の連続ゴール、門山のロングシュートで前半 15 分、6 対 3 で 3 点差を付ける。前半 20 分、大崎は宮﨑を投入。それまでつながらなかったポストへの落としが決まると、車体のシュートミスから速攻で逆転する。車体・門山、笠原が巧みに決めるも、勢いに乗る大崎の速攻を止められず、12 対 9 の大崎 3 点リードで前半を折り返す。

後半立ち上がり、両者一歩も譲らず一進一退を繰り返す。逆転のタイミングは大崎の元木。対する車体・吉野。要所を確実に決めて、相手のリードを許さない。後半 20 分、大崎の宮﨑が流れを持っていくかと思われたが、車体 GK 甲斐が好セーブ 2 本を見せる。すると車体・内海がサイドずらしを決め、1 点差に詰め寄ると、吉野が 7mT をもぎとり、杉岡が決め、延長戦に突入した。

延長戦前半 16 秒で大崎の元木が痛恨の退場。しかしながらこの 2 分間で車体が奪えたのは吉野の 1 本のみ。元木の退場が明けると大崎は東長浜の 2 連続パスカットからの速攻で小室が決め、前半で 2 点差をつける。後半車体・甲斐がまたまた好セーブで藤田が GK にこたえ、1 点差。大崎に食い下がるが、2 分 48 秒吉野が退場、4 分 30 秒信太が気迫のあるミドルを決め、車体万事休す。31 対 30 で大崎が逃げ切り、2 年連続で優勝を飾った。

戦況：女子準決勝

北國銀行　25(14−8、11−8)16　三重バイオレットアイリス

開始 30 秒、北國銀行・角南唯の先制点で試合が始まる。北國銀行は立て続けに 4 点先取をするがバイオレットが 1 点を取り返す。中盤両チームともにキーパーを含めたすばらしい DF で得点の差が開かなかった。ラスト 10 分で北國が地力を発揮し、6 点リードで前半を終えた。

後半バイオレット・花村のナイスセーブもあり両チームとも流れをつかめず前半の得点差のままで試合が進む。中盤両チームの好 DF が功を奏し点差が広がりもせず、縮まりもせず、そのまま進んでいった。20 分すぎ、バイオレットはキーパーをさげ、7 人攻撃するも、北國の堅い DF により、得点できず、北國の DF からの速攻等で連続得点し、前半のリードもあり、9 点差で北國が勝利した。

戦況:女子準決勝

オムロン　19(13−6、6−12)18　広島メイプルレッズ

31 秒オムロン・相澤のサイドシュートで先制をするもメイプル・高山のポストシュートで取り返す。立ち上がり、両ゴールキーパーの好セーブが目立つが 10 分にオムロン 6 対 3 のリードとなる。中盤、両チームの好 DF があり、点が動かなかったが、16 分過ぎオムロン・松尾のフェイントシュートが決まり、4 点差とする。メイプルは点を取り返すもオムロンペースで進み、13 対 6 のオムロン 7 点リードで前半を終える。

メイプルは、7mT を獲得し、李が決め、試合が進む。オムロンもセット OF で得点を重ねリードを保っていたが、中盤メイプル・板野の好セーブがあり 2 点差まで追い上げられる。オムロン・東濱のステップシュートが決まると、オムロンペースになると思われたが、メイプルが門谷のサイドシュート等で 1 点差まで追い上げる。しかし、前半の点差が響き、オムロンが勝利に至った。

戦況:女子決勝

オムロン　20(9−12、11−7)19　北國銀行

オムロンが吉田のロングシュート、カットインで 2 点先制するも、立ち上がりの堅さがほぐれてきた北國銀行が GK 寺田好セーブを後押しに反撃開始、横嶋のミドル、河田のサイドシュートで追いついた後、両チーム互角の攻防が続く。25 分過ぎ北國・佐々木のロングシュート等で 3 点差で前半を折り返した。

後半立ち上がり、北國銀行に退場者が出た間にオムロン・東濱のロング、永田のポストシュート等で 5 点連取で逆転に成功。その後も一進一退の攻防が続き、勝敗の行方は終盤に。同点で迎えた 26 分過ぎにオムロン GK 宮川が 7mT を 2 連続好セーブを連発し、ゲームの流れを引き寄せた。オムロンが接戦をものにし、2 連続の優勝に輝いた。

第26回 JOC ジュニアオリンピックカップ

開催期間　2017年12月23日〜12月27日
開 催 地　沖縄県・浦添市、那覇市
主　　催　(公財)日本ハンドボール協会
共　　催　浦添市、浦添市教育委員会
主　　管　沖縄県ハンドボール協会
　　　　　　浦添市ハンドボール協会
　　　　　　沖縄県中学校体育連盟
会　　場　浦添市民体育館、沖縄県立武道館

最終結果

男子の部
優勝：愛知県選抜
2位：広島県選抜
3位：埼玉県選抜・茨城県選抜

女子の部
優勝：大分県選抜
2位：沖縄県選抜
3位：東京都選抜・大阪府選抜

オリンピック有望選手
男子：福井県選抜　藤坂　尚輝（明倫中学校）
女子：該当なし

有望選手（男子）
茨城県選抜　大山　翔伍（手代木中学校）
茨城県選抜　田中　祐人（土浦第三中学校）
埼玉県選抜　松原　敦希（田島中学校）
愛知県選抜　大竹　徹大（滝ノ水中学校）
愛知県選抜　楠本　颯大（滝ノ水中学校）
三重県選抜　酒井　翔麻（白子中学校）
広島県選抜　山下　倖輝（広島メイプル）

有望選手（女子）
大分県選抜　萩尾　ほのか（原川中学校）
大分県選抜　幡東　妃美希（原川中学校）
熊本県選抜　有働　千春（山鹿中学校）
沖縄県選抜　西田　瑞歩（美東中学校）
愛知県選抜　福井　すみれ（竜北中学校）
東京都選抜　伊藤　結衣（東久留米西中学校）
岩手県選抜　藤原　ひなた（花巻中学校）

大会最優秀選手
（男子）愛知県選抜　尾谷　浩希（滝ノ水中学校）
（女子）大分県選抜　石川　　空（原川中学校）








5点共　写真提供：スポーツイベント社

JOC沖縄大会３年間を振り返り

第25回・第26回大会事務局　総務委員長　**新垣裕己**











南国の地、沖縄県最後の開催となりました第 26 回 JOC ジュニアオリンピックカップハンドボール大会が、平成29年12月23日(土)～27日(水)の５日間、浦添市民体育館・沖縄県立武道館の両会場で開催されました。本大会は日本のユース世代最高峰の大会であり、全国 25,749 名の中学生ハンドボーラーの中から勝ち抜いた 757 名が沖縄県に集い、日本代表選手として活躍が期待されるジュニア選手の発掘と育成を行うことが第一の目的であります。

また、昨年度に引き続き、世界選手権等で行われるプレジデントカップを、予選リーグ２位チームを対象に沖縄県協会が主催し今年度も開催することができました(男子優勝東京都・女子優勝岡山県)。新たな大会にも関わらず、出場チームからは賛同する意見が多数寄せられ、今年度も実施する運びとなりました。真剣勝負の緊張感で、できるだけ多くの試合経験を積んでもらいたいという、本大会の趣旨とマッチした試みでもあったと考えております。

さて、本大会は沖縄県選抜女子が 12 年ぶりに決勝進出を果たしたことで、最終日は過去最高の 2,000 人を超える大観衆の中、手に汗握る熱戦が繰り広げられ、大歓声・大喝采の中、最後の沖縄大会が幕を閉じました。予選リーグから決勝トーナメントまで、どの試合も１点を争う好ゲームばかりで、チームスタッフの熱い想いと選手の最高のパフォーマンスが発揮されていました。地元役員や県内の中学生ハンドボーラーにとりましても、日本全国のハンドボールを間近で体感することができ、観ていた観客や県内の中学生に夢と感動を与えるものであったと確信しております。

最後になりましたが、全国大会を沖縄県で開催するにあたり、多大なるお力添えをいただきました（公財）日本ハンドボール協会をはじめ、各ブロック、各チーム関係者の皆様、審判員の皆様に、厚く御礼を申し上げます。そして何より、３年間の全国大会、夏の全中も合わせ計４回の全国大会を運営するにあたり、日本協会常務理事の三輪一義様が、いつも私たちに寄りそってアドバイスしていただいたこと、井上洋文先生（第 24 回大会総務委員長）、与久田学先生（全中大会総務委員長）をはじめ、100 名の県内役員（主に中学校教諭)、150 名の補助役員（中学生、大学生）が「ゆいまーるの心」で全国から来沖するみなさんが「沖縄に来てよかった」と思えるよう、一丸となって裏方として大会を支えることができました。競技力のみならず、沖縄県の運営力も披露することができたと自負しております。夏の暑い沖縄全中、冬の暖かい沖縄 JOC に尽力していただきましたすべてのみなさまに感謝を申し上げ、大会の総括とさせていただきます。ありがとうございました。

男子優勝

愛知県選抜



愛知県選抜監督　深見 忠司

この度は、第 26 回 JOC ジュニアオリンピックカップにおいて優勝することができ大変嬉しく思います。これもひとえに、ご支援、ご協力いただいた保護者の方々、愛知県協会、名古屋市協会、中体連、体育館を利用させてくださる高校の先生方のおかげであると深く感謝しております。

愛知県選抜の監督を務めるにあたり、夏の滝ノ水中に引き続き「日本一」という目標だけではなく、選手の育成、若手指導者の育成など次の世代へつなぐ活動にしていくことも考え、私以外のスタッフを全員 20 代にし、練習計画や練習メニューなどを考案させました。また、３号球に慣れるだけではなく、２号球でスキル獲得のための練習を取り入れることも同時に行い、練習の最初に練習の意図、目的、個々の役割などを理解させ、チームで戦うことの意識を徹底させました。さらに、スタッフにも役割分担をさせることで、徐々にチームがまとまり、良い雰囲気で大会に入れたと思いました。

しかし、大会に入ると、経験値が少ない選手の自信のなさや緊張が試合に影響し、予選リーグの群馬県選抜・岡山県選抜との試合ではとても苦戦し、やはり JOC では簡単に勝たせてもらえないと実感するとともに、各選抜チームの選手達の能力や経験値の高さは素晴らしく、それをこのチームで越えていきたいとスタッフも選手と一緒に気持ちを高めていきました。決勝トーナメントに入り、富山県選抜との試合では、選手達の集中力が素晴らしく、練習してきたことをしっかりと発揮することができたと思います。次の埼玉県選抜との試合では、７人攻撃を主体とした戦術と、GK の好セーブに苦しめられましたが、DF を頑張ることで失点を少なくし、後半に追いつき、競り勝つことができました。

最後、決勝戦では全中の決勝で戦った甲田中と春中準優勝のメイプルレッズジュニアの経験値が高い選手たちと、どう試合を展開していくかが課題でしたが、個々が役割をしっかりと果たし、最後まで諦めずに足を動かした DF、絶対に１点取るぞという気迫のこもった OF、試合が進むごとにチームとして成長することができた愛知県選抜の総合力が優った試合ができ、「優勝」することができたことを嬉しく思います。

この「優勝」は、私自身が初めて JOC 日本一に輝いたチームの選手でキャプテンだった、「土居良恵流 (28)」を始め平田中の「浜川又行 (28)」、笹島中の「友清翔太 (27)」、「北端裕介 (27)」、滝ノ水中の「牛丸敦貴 (25)」、この若手指導者達が９月から選手と一緒に練習をし、選手と一緒に成長し、指導力を磨いてきたことが、とても大きかったと実感しています。今後は、この経験を基に名古屋市、愛知県を引っ張っていける指導者へと成長することを願うばかりです。

最後になりましたが、３年間、この大会の開催にご尽力いただき、さらにプレジデントカップの開催で、多くの選手に機会を与えてくださった沖縄県ハンドボール協会を中心とする関係機関、関係各位の皆様に、最高の舞台でハンドボールをさせていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

愛知県選抜主将　尾谷 浩希

９月 10 日、愛知選抜の 16 人が初めて集まりました。そこで､僕たちは「日本一」を目標に掲げました。しかし、選抜チームはみんな別々の中学校からの集まりなので、上手くやっていけるか不安でした。最初は、四角パスなど基礎的なスキルアップ練習を中心に、練習目的や意識しなければならないことなどをチームで確認すると同時に、３号球に慣れることも始まりました。２号球に比べて３号球は大きくて重いので、慣れるのには苦労しました。しかも、２号球のようにシュートを打つには慣れだけではなく体幹が必要でした。そのため、毎回練習の最後には体幹トレーニングや体力をつけるために走り込みをしました。練習の中でもこれが一番きつかったです。

11 月に入ると高校生との練習試合や先生方相手の実戦形式の練習が増えていきました。その試合ごとに問題点や課題などをチーム全員で話し合いました。チームみんなで話し合いをしたことが、チームの仲を深め、このチームが強くなった要因だと思います。特にディフェンスでは、声がないと守れないのでコミュニケーションの大切さがよくわかりました。

12 月に入ると平日練習も始まり、場面を想定しての練習が中心になりました。この練習により、緊迫した試合でも慌てずにしっかり守り、確実に点数をとり、勝つことができるチームになり、優勝することができたと思います。他にも優勝できた理由を３つ上げると、１つ目は大会中に１試合ごとにチームがまとまり、大きく成長できたことです。大会中は苦しい試合ばかりでしたが、その試合でも問題点などを１人１人が意識して改善していきました。２つ目は先生や保護者の方がモチベーションビデオを作ってくれたことです。このビデオのおかげで、僕たち選手の気持ちが高まり勝ちへとつながりました。３つ目はたくさんの方が僕たちを応援し、支えてくれたことです。

ここまで熱い指導で支えてくださった先生方、応援してくださった保護者の皆様、練習場所を提供してくださった中学校・高校の関係者の皆様、練習相手をしてくださった先輩の方々、支えてくださった全ての方々に心から感謝します。おかげで「日本一」になることができました。ありがとうございました。

女子優勝

大分県選抜



大分県女子監督　甲斐 万起子

　はじめに、JOC ジュニアオリンピックカップハンドボール大会の開催にあたり、３年間ご尽力頂きました沖縄県ハンドボール協会の皆様、大会関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。

　2017 ALL OITA の目標は『日本一』。今年は原川中が春・夏の全国大会を制しましたが、今大会は大分県として挑む大会であって、決して三冠を目指すわけではないとチームに伝えていました。しかし、彼女たちは４ヶ月間、計り知れないほどの大きなプレッシャーとずっと戦い続けていたと思います。

　その影響からか予選リーグからなかなか思い描いたプレーをすることができませんでした。歯車が噛み合わない状態で迎えた準決勝、決勝では、終始劣勢で、リードされて前半を折り返す非常に苦しい試合となりました。それでも日本一になるという彼女たちの意志は、ぶれることなく、ハーフタイム中には「自分たちが今までやってきたことを信じて戦おう。そうすれば必ず私たちが勝つ」とお互いを鼓舞する姿がありました。後半は、我慢の守備から１点ずつ追いつき、最終的には逆転、そして優勝という最高の形で大会を終えることができました。

　決して器用な選手たちではありません。弱い部分もたくさん持っている普通の中学生です。彼女たちのどこにそんな強さがあるのか。それは日本一になるために必要だと思ったことは、どんな小さなことでも自分たちで進んでやるという自主性があったからだと思います。その積み重ねが逆境を乗り越える大きな原動力になったことは間違いありません。今大会を通して、勢いだけでなく、苦しくても負けない本当に強いチームになったと感動しています。

　終わりに、今大会に至るまで多大なるご支援を頂きました大分県ハンドボール協会の皆様、小、中、高校関係者の皆様、チームのことを最優先にして献身的なサポートをしてくださった保護者の皆様方に、この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

大分県女子主将　石川　空

「２年連続日本一」これが、私たちがチームを結成した時に掲げた目標でした。

　挑戦する気持ちを持つことが大事だということは分かっていましたが、「勝たなければいけない」という気持ちの方が大きく、そのプレッシャーから練習や練習試合でなかなか自分たちのハンドボールをすることができませんでした。そんな私たちを見て、甲斐先生から何度も「他のチームもみんな頑張っている。このままでは絶対に日本一にはなれない」と言われました。しかし、私たちの意志は固く「日本一になる」という気持ちは変わりませんでした。そうして臨んだ九州大会。優勝はできたものの課題が明確になった大会となりました。それは「一人ひとりがチームの一員であるという気持ちを持つ」ということでした。

　そこで、大分に帰ってから「一人一役」をつくることにしました。選手全員が意見を出し合い、その日の１日の練習で必要な係を 16 個決めて全員に振り分けました。これは「自分はチームの一員だ」という気持ちを深く根付かせる大きな試みだったと思います。練習でも全員が声を出すようになりました。一人ひとりが「自分がしなければいけないこと」を理解し、率先して動くようになりました。そしてチームが良い方向に進み、一つになっていくことを実感することができました。

　全国大会では、予選から楽な試合は一つもなく、どの試合も厳しい戦いとなりました。しかし、全員で話し合いながら一つひとつ勝ち上がることができました。そして 大分の生命線は DF。「どんなに苦しくても、点が決まらなくても、DF を頑張ればこのチームは負けない！」と甲斐先生が言っていたように、苦しく自分たちのペースにならなくても、相手にリードされて折り返しても、DF を頑張って少しずつ自分たちのペースに持っていくことができました。何より最後に勝ち越すことができたのは、私たち 16 人の「日本一になる」という強い気持ちこそが「日本一」だったからだと思っています。

　優勝した瞬間は、嬉しくて、今まで頑張ってきて本当に良かったと思いました。同時に、もうこのメンバーとハンドボールをすることができないのかという寂しさも込み上げてきました。

　これから、それぞれ進む道は違いますが、今回の JOC で経験させて頂いたことを生かし、必ずレベルアップして頑張っていきたいと思います。

　今回の優勝には、中学校の先生方、練習の相手をして下さった高校の先生方、先輩方、甲斐先生、山口先生、野津手トレーナー、保護者の支えがあったからだと感謝しています。本当にありがとうございました。

戦況：男子決勝　愛知　23(14−12､9−6)18　広島

広島・山下のシュートで幕が上がる。序盤からお互い一歩も引かず、取ったり取られたりの展開。広島はバックプレーヤーを中心に得点を重ね、愛知はコートを幅広く使い、梅村、佐藤のサイドシュートや速攻などが決まる。前半残り20秒で愛知タイムアウト。時間を有効に使い、梅村の視野外からのカットインが決まり、前半を14対12で愛知リードで折り返す。

後半は愛知・尾谷のシュートが決まる。広島はなかなか点が取れず、その焦りから5分42秒、前川の不正入場により退場者を出してしまう。愛知は数的有利な状況を冷静に攻め、点差を徐々に広げる。その後愛知の攻撃が単発になる。その隙をついて広島は速攻で攻めるが、得点には繋がらない。広島ディフェンスを3-2-1に変更したりチャンスを探すものの、愛知の組織された守りを崩せずに23対18で試合終了となる。愛知は広島の攻撃の要である小先のプレーを封じて得点を抑え、攻めてはサイドをうまく使い、広島に的を絞らせない攻撃で安定した試合運びをした。

戦況：女子決勝　大分　19(9−10､10−8)18　沖縄

大会2連覇、年間大会3冠が懸かる大分県選抜と、地元開催優勝をねらう沖縄県選抜の対戦。大分のスローオフで試合開始。大分は萩尾のサイドシュートで先制。対する沖縄は速攻、スカイプレー、また西田のトリッキーなミドルシュートなどで得点を重ね、試合の主導権を握る。大分も慌てず、石川を中心に攻め、三浦のポストシュートで6対6の同点とする。そこからは一進一退の攻防が続くなか、沖縄が又吉のサイドシュートで前半を10対9の1点リードで折り返す。

後半も1点を争う攻防のなか、大分は3分に退場者も出すが、萩尾のサイドシュート、速攻などで3連続得点とし、後半13分に逆転に成功する。沖縄も大分・石川にマンツーマンをつけて、相手のリズムを崩し後半21分には又吉のサイドシュートで同点。会場のボルテージが上がる中、残り2分、大分・安東がサイドから19点目のシュートを決める。沖縄も残り40秒でタイムアウトをとり最後の攻撃にかけるが、大分が守り抜き、2年連続4回目、県勢として3冠を勝ち取った。

大会ミニレポート



星野真也さん

第24回(2015年)～第26回(2017年)JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会は沖縄県で開催されてきたが、次回第27回(2018年)～第29回(2020年)の3大会が埼玉県で開催される。会場には埼玉県開催事務局の星野真也さん（越谷市立栄進中学校ハンドボール部顧問）が視察に来沖されていた。星野さんは埼玉開催について「埼玉県全体のハンドボールのレベルアップや若手指導者を纏めて新たなハンドボール王国を作りたい。更には2021年には全国中学校大会も予定しており、この4年間は埼玉県の組織力を生かして、スタッフみんなで大会に全力で対応していきたい。又、埼玉県ハンドボール協会会長の清水勇人氏は、さいたま市長をされており、さいたま市を中心に行政とも十分な協力を図り運営する予定である。メインの会場は「サイデン化学アリーナ（さいたま市記念総合体育館）」を予定している。参加する各県選手スタッフのご協力も得ながら、大会を成功させたていきたい。」と意気込みと大会運営への並々ならぬ情熱を語られた。来年から始まる4年間の埼玉県開催に注目していきたい。（機関誌委員会：近久紀人）

molten
For the real game

国際ハンドボール連盟 公式試合球

IHF OFFICIAL GAME BALL



[3号球] 品番 **H3X5001-BW ¥8,400(本体価格)+消費税**
[2号球] 品番 **H2X5001-BW ¥8,200(本体価格)+消費税**
国際公認球 検定球 人工皮革 縫い ブルー×ホワイト ラテックスチューブ

www.molten.co.jp


asics
DASH
MORE FAST
ダッシュ性能を追求したスピードモデル。
GEL-FASTBALL 2 NEW
THH545
本体価格 ¥11,800＋税
サイズ 23.0〜29.0・30.0cm
0190
ホワイト×ブラック
4501
アシックスブルー×ホワイト

食育を考える ジュニア期の食事の在り方 4

食事でコンディショニング!!

筑波大学体育系准教授　麻見 直美（管理栄養士）

運動栄養学の専門家、筑波大学体育系運動栄養学（管理栄養士）の麻見直美先生による、シリーズ「食育を考える：ジュニア期の食事の在り方」の第４回目、今回が最終回となる。

目的とした身体づくりでは、しっかりと食事からエネルギー補給をすることが大切です。体重を計りながら『パーフェクト栄養型』の食事の量をコントロールして、目指す身体づくりに努めていることと思います。ハンドボールの運動量は多いので、しっかり食べてその運動量に見合ったエネルギー補給をしなければならないのです。

前回、エネルギー切れ（ガス欠）を起こさないためのエネルギー補給法を解説しました。前回は、例えば試合中にガス欠を起こさないための危機管理としてのエネルギー補給法を紹介したわけですが、これは日常でも応用できます。１日の食事量をしっかり確保するためには、ハンドボールを頑張るあなたは、朝昼夕の３回の食事だけでは、十分なエネルギー補給をするのが難しい場合があります。そんな時は、３回の食事以外に、軽めの食事を摂るつもりで、食事の回数を増やします。その増やす食事は『補食』であって、スナック菓子をたべたりするおやつ、間食ではありません。その食事回数を増やすときの『補食』の選び方で応用するのです。練習前の補食の選び方、就寝前に摂る補食の選び方、こんな時に選らぶ『補食』の種類を消化にかかる時間などを考慮した選び方をします。こうすることで快適なエネルギー補給ができるわけです。日常的に十分なエネルギーが補給でき、練習中のガス欠も防ぐことができて、気持ちよく練習に取り組めるようになるはずです。自分にとっては、どの食品だったら快適なエネルギー補給につながるか、try and error で見つけましょう。

さて、エネルギー補給の回数を増やすなら、その摂取の効果を意義あるものにするための食べる（摂取する）タイミングの工夫があります。スポーツ栄養学で最も有名な食事法と言えます。『ゴールデンタイム』という栄養補給のタイミングです。図１に示すとおり、運動後できるだけ早いタイミングで炭水化物（糖質）を補給すると、運動時に利用される主たるエネルギー源である筋中のグリコーゲン量の回復が早いことが知

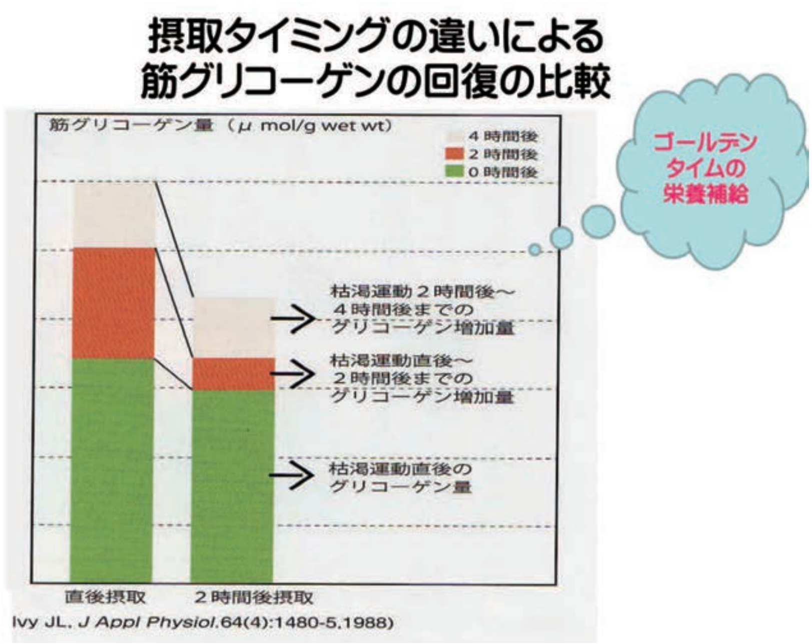


図１

られています。運動直後に（目安は 30 分以内）に十分な食事を摂取することは難しい場合が多いでしょう。そんな時は、運動後 30 分以内を目安に消化のよい炭水化物源を中心とした食品を補給しましょう。回復効果が大きいと言われている運動後のこの約 30 分のことをゴールデンタイムというのです。消化のよい炭水化物源を中心とした食品としては、油脂を（多く）含むものを避けるなどの工夫です。おにぎりや果汁 100%のフルーツジュース、バナナなど、ここでもガス欠を起こさないためのエネルギー補給法で紹介されている食品を参考にするとよいでしょう。運動後のゴールデンタイムに摂る補食にあなたは何を選びますか？　あなたに合うものを見つけましょう！ ただし、このときの食品選びでは、運動後までその食品をどこにどのように保管できるか、食べるまでにその食品が傷まないか、おなかを壊すようなリスクは起こさないかも考える必要があります。高温高湿にならない、直射日光が当たらないなど、保管場所についても配慮しましょう。おにぎりだったら保冷剤でしっかり冷やして保管するなどの注意も大切ですね。こんな時はエネルギー補給用のサプリメントの有効活用もあるかもしれません。

この回復効果を最大限に引き出す栄養法については、最近では、もう一つの視点を加えて、筋グリコーゲン回復に加え、筋量増加効果も向上させようという工夫がされるようになっています。筋グリコーゲン回復と筋量増加効果の両方を期待するならば、ゴールデンタイムには、炭水化物（糖質）とたんぱく質の両方を同量程度摂ると良いのです。おにぎりの具材に少し多めの鮭やシーチキンを入れるなどの工夫ができますね。魚肉ソーセージは安価で保管性にも優れ、炭水化物（糖質）とたんぱく質がほぼ同量含まれている食品です。プロテインを活用することもあるかもしれませんね。そんなときはプロテインをただ水に溶かして摂るのでは無く、果汁 100%フルーツジュースと一緒に摂る（果糖という炭水化物を摂ることができるから）などの工夫もできますね。ところで、筋量を増加させたいからと言って、たんぱく質の摂取量だけを増やしても効果的ではないことを忘れないでください。たんぱく質もエネルギー源になる栄養素ですから、エネルギー摂取が十分でないと身体づくりを目的に増やしたたんぱく質もエネルギー源として使われてしまいます。ここでも日常的な食事等からのエネルギー補給の充足が重要となるのです。シリーズ 1 回目にどのくらいの量のたんぱく質源となる主菜を摂ったら良いかを説明しました。思い出してくださいね。

エネルギー補給法を応用するコンディショニングはまだまだあります。先ほど、ゴールデンタイムに補食を摂ることによる筋グリコーゲン回復効果を紹介しました。炭水化物（糖質）を補給することの重要性についてです。筋グリコーゲン回復効果を大きくするためには、このゴールデンタイムに摂取する栄養は、高炭水化物が良いことが知られています。一般に摂取するエネルギー量の60％以上が炭水化物（糖質）である方が、筋グリコーゲン量の回復は大きいのです。ですから、同日の 2 試合目までの回復効果を期待するなら、1 試合目が終

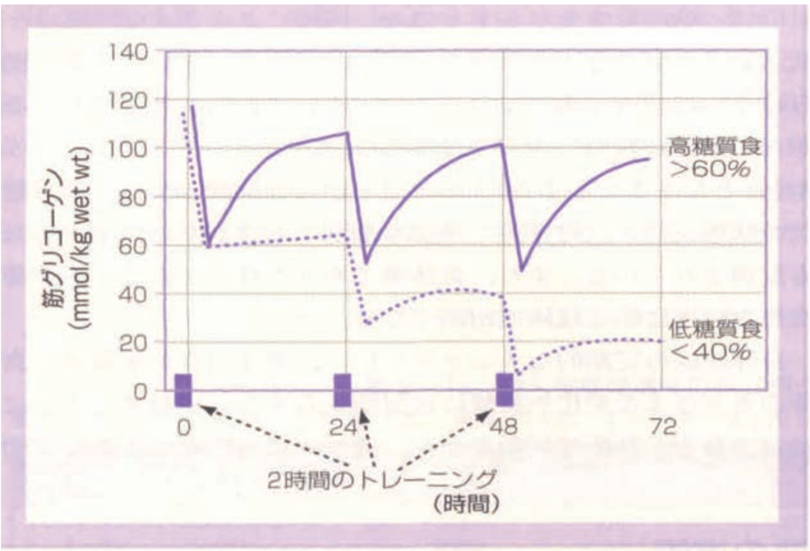


図2　食事組成の違いによる筋グリコーゲンの回復

＊筋グリコーゲンの回復には高糖質食が必要である。

出典：Costill ら（1980）
アスリートのための栄養食事ガイドより

わったらできるだけ速やかに、できるだけ消化の良い炭水化物（糖質）が多く含まれている食品を摂ることになります。運動後の食事（ゴールデンタイムを含む）が、高炭水化物（高糖質）であることが回復効果を高めるので、練習が連日続く、とくに高強度運動が毎日続く合宿などでは、運動後の食事の炭水化物の種類と量の工夫も大切になるのです。（図 2）

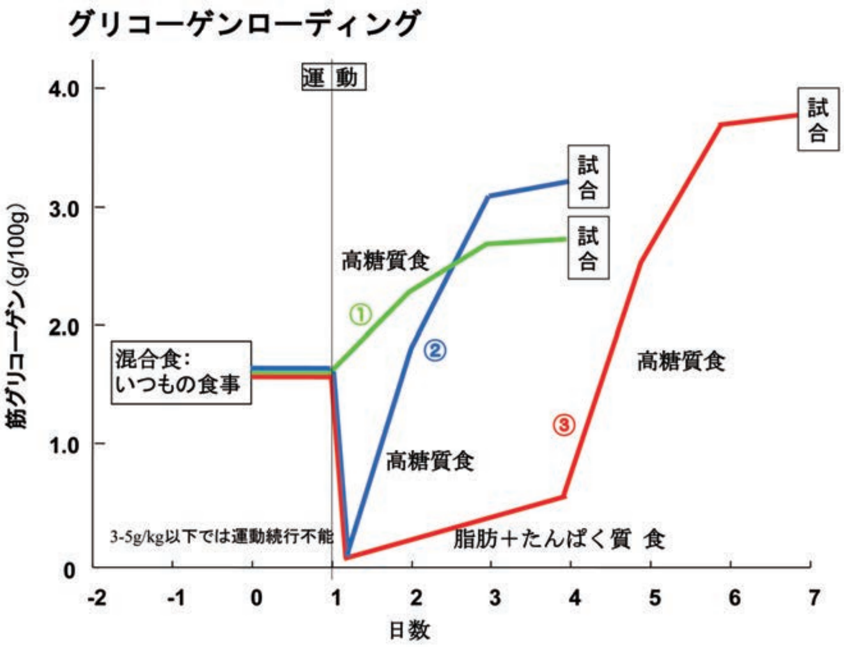


図 3

筋グリコーゲンは運動時の重要なエネルギー源です。試合中にガス欠を起こさず、十分な力を発揮できるように持久力を向上させておくための食事の工夫がグリコーゲンローディング（カーボローディング）です。試合時間（競技時間）の長めの競技ではよく応用される食事法です。これもエネルギー補給法の活用例であり、超回復という身体の機能を応用した食事法です。筋グリコーゲンの超回復とは、運動により一端減少（枯渇）した筋グリコーゲンが、材料が適切にあると運動後には運動前のレベル以上に筋グリコーゲン量が増加することを言います。試合中のスタミナが気になる人は、試合前数日間の食事でグリコーゲンローディングをすると良いかもしれません。グリコーゲンローディングにはいくつかの方法があります（図 3）。あなたにとって取り組みやすい方法をやってみましょう。一番簡単な方法は、試合前 2 〜 3 日間いつもより炭水化物（糖質）の摂取量を少し増やすと言う方法です。いつもの食事におにぎり 1 〜 2 個追加するイメージです。追加するものはおにぎりの他、餅などでもいいでしょう。これでいつもより少し多く筋グリコーゲン量を増やしておくことができます。スタミナ Up につながったと言うわけです。さらに、もう少しスタミナ Up を図りたい場合には試合の 3、4 日前に筋グリコーゲンを使い切るような練習をします。その後の食事では高炭水化物（高糖質）となるように、毎日おにぎり 1 〜 2 個を追加するようにします。超回復をもっと活用するわけです。さらにもっとスタミナ Up を測りたいときには、試合の 1 週間前から計画的な食事とトレーニングを行います。試合のまず 1 週間くらい前に筋グリコーゲンを使い切るような練習をします。その後 3 日間程度、低炭水化物（低糖質）になるように、たんぱく質や脂質が多い食事を摂ります。主食を減らすような食べ方です。そして、筋グリコーゲンの枯渇状態を持続させます。その後に、すなわち試合の 3 日前くらいになりますが、そこからは高炭水化物（高糖質）の食事になるようにします。筋グリコーゲンの枯渇時間を延長させてより大きな超回復効果を狙う食事法ということになります。

エネルギー補給法を様々なシーンで活用して、あなたが目指すコンディションを作れるように、保てるように、あなたの食事法を try and error で見つけてください。すなわち、食事はまず日々の食事が大切です。体重管理をしながら『パーフェクト栄養型』の食事をし、時々に併せた食事法をエッセンスとして取り入れて、いつも best コンディションでいられるように、あなたの食事法をつくりましょう！

2017年度NTSセンタートレーニング報告

今回のセンタートレーニングから NTS 委員長を仰せつかった古橋幹夫です。

前任の金原委員長が改革されたことを引き継ぎ、今後ますます日本のハンドボールが発展していきますよう NTS のシステムを充実させていきたいと思いますので一層のご指導、ご協力をお願いいたします。

1　開催日時　U-16：1 月 4 日〜 1 月 6 日
U-13：1 月 6 日〜 1 月 8 日

2　会場　味の素ナショナルトレーニングセンター

3　参加者
- NTS スタッフ（技術指導、運営、審判、トレーナー、情報分析他）
- 学生サポートスタッフ
- 講師等
- 補助指導者
- 選手 U-16 男子 37 名、U-16 女子 35 名、U-13 男子 31 名、U-13 女子 29 名　選手合計 132 名

4　NTS の変遷

NTS は、日本スポーツ振興センター（JSC）のスポーツくじ（toto・BIG）の収益金による助成金を中心に実施しています。2000 年から始まったこの事業も今年度で 18 年目を迎えました。

この事業は、歴代の担当者の努力によって、事業の目的である**【選手の発掘育成　一貫指導の伝達　指導者育成】**において、各委員会が横断的に関わったり、多くの指導者が関わることによって細かい指導を提供ができるなど、より実効性のあるものへと少しずつ変貌を遂げ、今年度は初めて U-16（中 2 〜高 1）、U-13（小 6・中 1）のカテゴリー別の開催となりました。

5　活動内容

2017 年度の NTS センタートレーニングは、各ブロックから選ばれた選手・推薦された指導者と NTS スタッフによって、U-16・U-13とも2泊3日のスケジュールで、開催いたしました。

トレーニングプログラムについては、ハンドボールの技能の習得にとどまらず、「ファンダメンタルスキル」や、ハンドボールに適した効果的な動きの習得のためにトレーナー部会で考案された「ベーシックセブン」をトレーナーの方の指導の下、実施しました。

また、ゲームでは国際審判員の方を招き、審判の視点も取り入れて指導を受けました。

【ハンドボールスキルトレーニング】

現日本代表やアンダーカテゴリーで課題となっている技術の基礎・基本の習得、技術の伝達、指導者の資質向上を図るため、指導内容策定委員会でそれぞれのカテゴリー別に内容を模索し、次のように策定しました。

■ U-16

〈DF スキルトレーニング〉

牽制を入れながらコンタクトを伴う 1 対 1 から 6 対 6 まで、状況に応じた連携の習得を狙ってトレーニングの実践を行いました。

①牽制からコンタクトやパスカットの 1 対 1
②牽制からさがりながらの 1 対 1、1 対 2、2 対 3
③牽制やコンタクト、パスカットを狙う 4 対 4、6 対 6

〈OF スキルトレーニング〉

ピボットプレーヤー（ポストプレーヤー）の位置を利用し、ドリブルを使いながらチャンスを作る動きや状況判断の実践を行いました。

①パスを継続し周囲を観察する。
②ドリブルを継続し周囲を観察する。
③ドリブルを使った PV との縦の 2 対 2
④ OF のパス相手制限の速攻 4 対 4 で状況判断

〈GK スキルトレーニング〉

① GK の構えと素早いポジショニング
②ダイナミックなセービング
③予測とチャレンジ

■ U-13

〈DF スキルトレーニング〉

コンタクトを最重点課題として、その技術やフットワークの習得を狙ってトレーニングの実践を行いました。

①コンタクトやフットワークのファンダメンタルドリル
② 4 対 3 のコーンタッチで DF のコンタクト
③パスカットや牽制、コンタクトを導き出す複合ドリル

〈OF スキルトレーニング〉

受け身やドリブル、片手キャッチ等の基本技術の習得から正しい状況判断の実践を行いました。

①受け身とパス
②ドリブルを継続し周囲を観察する。
③片手キャッチと動きながらのパス
④パスからの 2 対 1、ドリブルからの 2 対 1
⑤　基本技術を定着させる 4 対 4

〈GK スキルトレーニング〉



〈ベーシックセブン〉



〈DF スキルトレーニング〉

①GK の構えと素早いポジショニング
②ダイナミックなセービング
③予測とチャレンジ

麻生薫、尾石智洋、濱野健一各氏を中心に、インストラクターとして各ブロックから推薦された指導者の方々のご協力をいただき、熱心な指導の下、充実したトレーニングを行うことができました。

各ブロック推薦指導者（インストラクター）
・北海道　藤井浩史
・東　北　荒井啓貴
・関　東　永田真也、田口貴仁、熱田翔、町田雄基
・北信越　大房和雄、長野大、藤中修、小嶋永治
・東　海　日比野起年
・近　畿　吉本千紘
・四　国　小柳仁史
・九　州　川野淳史、徳留鑑一、上田芳久、黒木聖子、山下愛加、河原亮、磯部拓紀、赤峯真樹子、木村綾児、幡東忠則、新垣誠

GK コーチの指導者のご協力をいただき手厚く内容の濃い指導ができました。
・GK コーチ　北野香代、河野博光、小松理子

トレーナー部会から派遣されたトレーナーさんの指導でベーシックセブンやウォーミングアップ、クールダウンを行なうことができました。
・トレーナー部会　篠原　博、竹内いずみ

最終日のゲームでは、審判委員会から国際審判員を派遣いただきました。
・国際審判員　本田昭太、島尻真理子

審判員のジャッジを行う基準を学び、実際にゲームのジャッジをしていただくとともに、国際レベルのゲームを踏まえて審判の目から見たアドバイスをいただき、選手にとって良い刺激となりました。

【知識：知的スキルによってハンドボールに対する取り組みやアスリートとしてどうあるべきかを考えさせる】

〈アスリートセミナー〉
東海林祐子氏による「アスリートライフスキル」の講義とワーク
・選手の人格形成とメンタル強化を学びました。
志水孝行選手、青麗子選手による自分史の発表とワーク
・メンタルと結果の関連や将来の目標を設定することを学びました。

〈コーチングセミナー〉
東海林祐子氏による「アスリートライフスキル」の講義とワーク
尾石智洋氏による「今回のトレーニングコンセプト」の解説
指導者の方が選手に対するライフスキルの指導の仕方やトレーニングコンセプトを学び、指導力の向上を図りました。



〈知的スキル（東海林氏）〉

2017年度NTSセンタートレーニング参加者名簿（選手）

	氏名	都道府県	所属	カテゴリー
1	岩花　陸	北海道	札幌市立藤野中学校	U16
2	高島　琉成	北海道	函館市立桔梗中学校	U16
3	後藤　碧	北海道	札幌静修高等学校	U16
4	笹谷　柊太	宮城県	仙台市立高砂中学校	U16
5	佐藤　歩	宮城県	仙台市立高砂中学校	U16
6	大山　翔伍	茨城県	つくば市立手代木中学校	U16
7	狩野　直樹	埼玉県	浦和学院高等学校	U16
8	楠　辰吉	山梨県	甲州市立松里中学校	U16
9	豊増　明志	埼玉県	浦和学院高等学校	U16
10	新井　駿佑	群馬県	富岡市立南中学校	U16
11	田中　祐人	茨城県	土浦市立土浦第三中学校	U16
12	松原　敦希	埼玉県	さいたま市立田島中学校	U16
13	朝野　暉英	富山県	県立氷見高等学校	U16
14	小林　歩夢	長野県	千曲市立更埴西中学校	U16
15	金岡　宙斗	富山県	高岡向陵高等学校	U16
16	大竹　徹大	愛知県	名古屋市立滝ノ水中学校	U16
17	近藤　優輝	愛知県	名古屋市立平針中学校	U16
18	澤井　大輝	愛知県	名古屋市立平田中学校	U16
19	佐藤　耕平	岐阜県	岐阜東高等学校	U16
20	佐橋　陵汰	愛知県	名古屋市立汐路中学校	U16
21	ピサノ ライアン 海夏人 堀尾	愛知県	中部大学春日丘高等学校	U16
22	楠本　颯大	愛知県	名古屋市立滝ノ水中学校	U16
23	安達　圭吾	大阪府	大阪体育大学浪商中学校	U16
24	伊藤　篤博	京都府	府立洛北高等学校	U16
25	辻本　光太郎	京都府	京田辺市立大住中学校	U16
26	土佐　竜眞	兵庫県	神戸国際大学附属高等学校	U16
27	荒瀬　廉	広島県	広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ	U16
28	近藤 アレキサンダー 偉一郎	山口県	岩国市立通津中学校	U16
29	近藤 ダノベン 優一郎	山口県	岩国市立通津中学校	U16
30	梅岡　大祐	山口県	県立岩国工業高等学校	U16
31	川久保　拓郎	高知県	高知中央高等学校	U16
32	清水　啓勝	香川県	高松市立塩江中学校	U16
33	大川　陸	宮崎県	県立小林秀峰高等学校	U16
34	野上　遼真	大分県	大分高等学校	U16
35	細田　啓輔	福岡県	小倉日清館中学校	U16
36	前田　一鷹	長崎県	諫早ハンドボールクラブ	U16
37	角　陸輝	福岡県	祐誠高等学校	U16
38	越中谷　直	北海道	函館市立本通中学校	U16
39	山野　紗由	北海道	メーヴェン釧路ハンドボールクラブ	U16
40	戸羽　優奈	岩手県	県立不来方高等学校	U16
41	藤原　ひなた	岩手県	花巻市立花巻中学校	U16
42	伊藤　結衣	東京都	東久留米市立西中学校	U16
43	小柴　夏輝	千葉県	昭和学院高等学校	U16
44	小林　海由梨	埼玉県	埼玉栄高等学校	U16
45	酒巻　凛	栃木県	栃木市立吹上中学校	U16
46	新飼　繭菓	東京都	佼成学園女子高等学校	U16
47	鶴田　文乃	山梨県	甲州市立塩山中学校	U16
48	吉田　七夕子	東京都	東久留米市立西中学校	U16
49	中村　理乃	神奈川	横浜市立山内中学校	U16
50	高来　葵美	石川県	小松市立芦城中学校	U16
51	竹内　琉奈	福井県	県立福井商業高等学校	U16
52	古川　瞳	三重県	県立四日市商業高等学校	U16
53	南川　満帆	三重県	県立四日市商業高等学校	U16
54	秋吉　七海	愛知県	大同大学大同高等学校	U16
55	山村　愛	愛知県	名古屋市立明豊中学校	U16
56	福井　すみれ	愛知県	知立市立竜北中学校	U16
57	真木　結	京都府	京都市立四条中学校	U16
58	金川　乙葉	和歌山県	岩出市立岩出第二中学校	U16
59	戎井　琴音	兵庫県	神戸星城高等学校	U16
60	村田　七奈子	奈良県	育英西高等学校	U16
61	濱口　まお	鳥取県	境港市立第二中学校	U16
62	坪井　詩	岡山県	倉敷市立東中学校	U16
63	樋口　玲於奈	愛媛県	今治東中等教育学校（中学校）	U16
64	木村　萌雅	愛媛県	今治東中等教育学校（高校）	U16
65	長谷川　真子	福岡県	明光学園高等学校	U16



〈国際審判員の講義〉



〈集合写真〉

6　日程について

昨年に続き、今回のセンタートレーニングは、5日間の日程でU-16、U-13のカテゴリーをこなすというスケジュールでした。昨年の反省を踏まえ、今回はNTS運営委員会を充実させ、7名の委員で事務処理や選手の誘導を担当していただきました。昨年は選手・補助指導者・インストラクターの入れ替えや受付業務や打合せに追われることとなりましたが、運営委員会の活躍でスムーズに入れ替え等を行うことができました。

昨今、日本のハンドボールに係る行事等が錯綜している中、スケジュール調整等では毎年頭の痛い問題となっています。ましてや今回から小・中・高校生の選手・指導者が集まる形になり、大会を控えているチームが多い中、チームスタッフの方のご好意、ご協力の下、開催できている現状です。特に中学生は、U-16とU-13の両方が対象になっているので来年度の日程については大会日程等を考慮していきたいと思います。

7　今後のNTS

今年度からU-16、U-13というカテゴリー別のセンタートレーニングになりましたが、使用するボールサイズや松ヤニの使用についてなど、いろいろな課題が浮かび上がっています。また、ブロックトレーニングのカテゴリーをセンターに合わせていけるかという課題もあります。それらの課題を一つひとつ解決し、世界基準の選手を発掘・育成し、2024年・2028年につなげられるよう構築していきたいと思います。また選手の発掘育成と同等に指導者の育成も重要課題であると思います。

今後もNTSは、日々変化していく世界のハンドボールスキルや戦術のトレンドをいち早くキャッチし、情報提供をしていきます。併せて、ハンドボールの日本スタイルとして忘れてはいけない普遍的なものを提供できるように、NTS関連の委員全員で力を合わせていきたいと考えます。

最後に、センタートレーニングの実施にあたり、各ブロックでのトレーニングにご尽力いただいた運営・技術指導スタッフの皆さん、並びに選手・指導者を派遣してくださった所属チームの関係者の皆さん、NTSの運営に関わっていただいた方々に感謝の意を表します。

66	山﨑　晶	大分県	大分市立原川中学校	U16
67	西田　瑞歩	沖縄県	沖縄市立美東中学校	U16
68	髙橋　唯	大分県	大分高等学校	U16
69	幡東　妃美希	大分県	大分市立原川中学校	U16
70	有働　千春	熊本県	山鹿市立山鹿中学校	U16
71	比嘉　楓	沖縄県	沖縄市立美東中学校	U16
72	池畑　咲和	福岡県	福岡市立春吉中学校	U16
73	加賀谷　柊斗	北海道	函館市立光成中学校	U13
74	吉田　瑞貴	北海道	函館高盛ハンドボールスクール	U13
75	杉田　一輝	岩手県	矢巾フェニックスハンドスポーツ少年団	U13
76	鎌倉　悠真	岩手県	花巻市立花巻中学校	U13
77	渡辺　結斗	秋田県	尾花沢ハンドボールスポーツ少年団	U13
78	大久保　昌憲	東京都	小金井ハンドボールクラブ	U13
79	川田　陽暉	茨城県	豊里ハンドボールクラブ	U13
80	金子　眞虎	山梨県	山梨市ハンドボールクラブ	U13
81	井上　巧登	埼玉県	三郷市立北中学校	U13
82	青木　詩絵文	神奈川県	横浜市立中川西中学校	U13
83	越田　隼哉	富山県	上庄ハンドボールクラブ	U13
84	長井　凛	富山県	氷見市立北部中学校	U13
85	宮岸　稜	石川県	能美ジュニアハンドボールクラブ	U13
86	小林　優斗	三重県	笹川ハンドボールクラブ	U13
87	林田　崇希	三重県	四日市市立朝明中学校	U13
88	土方　真生	岐阜県	海津 JHC	U13
89	矢野　海里	愛知県	東海ハンドボールスクール	U13
90	山下　敦也	三重県	笹川ハンドボールクラブ	U13
91	佐藤　明人	京都府	京都市立四条中学校	U13
92	尾上　悠利	大阪府	キタイスポーツクラブ	U13
93	藤田　紳慈	京都府	草内ハンドボールクラブ	U13
94	向井　健悟	奈良県	生駒市立上中学校	U13
95	御手洗　秀信	山口県	岩国レインボーキッズ	U13
96	高梨　輝来	鳥取県	境港マリンバード	U13
97	川田　真吾	香川県	塩江 HBC	U13
98	小栁　貴裕	高知県	高知市立朝倉中学校	U13
99	下村　楓斗	宮崎県	小林ハンドボールスポーツ少年団	U13
100	野上　和真	大分県	大分中学校	U13
101	幡東　佑成	大分県	日岡ハンドボールスポーツ少年団	U13
102	有富　晴輝	熊本県	山鹿小学校ハンドボール部	U13
103	岩﨑　優真	熊本県	宇城市立松橋中学校	U13
104	阿部　はる菜	岩手県	矢巾フェニックスハンドスポーツ少年団	U13
105	中野　暁音	岩手県	ヴォルペ滝沢	U13
106	佐藤　小和	秋田県	湯沢市立湯沢北中学校	U13
107	青野　奈央	埼玉県	三郷ハンドボールクラブ	U13
108	大森　柊佳	千葉県	富里市立富里北中学校	U13
109	小幡　みなみ	群馬県	群馬ジュニアハンドボールクラブ	U13
110	後藤　結香	栃木県	HC 栃木	U13
111	堀越　あげは	茨城県	守谷市立けやき台中学校	U13
112	高山　雛	埼玉県	三郷市立北中学校	U13
113	北林　梨里	石川県	能美 Jr ハンドボールクラブ	U13
114	紺谷　利紗	石川県	小松市立芦城中学校	U13
115	松井　あぐり	富山県	十三ジュニアハンドボールクラブ	U13
116	安達　朱里	愛知県	東海ハンドボールスクール	U13
117	伊藤　未悠	三重県	菰野町立菰野中学校	U13
118	上村　花瑠	三重県	ヴィアティン三重ハンドボールクラブ	U13
119	塚本　紗椰果	岐阜県	高山ミニハンドボールクラブ	U13
120	矢田　莉菜	三重県	羽津ハンドボール少年団	U13
121	向井　心優	滋賀県	彦根市立東中学校	U13
122	浦辺　希美	奈良県	生駒市立生駒中学校	U13
123	田中　歩佳	京都府	薪小ハンドボールクラブ	U13
124	西垣　晴菜	京都府	薪小ハンドボールクラブ	U13
125	岡﨑　真弓	山口県	下松ジュニア	U13
126	山口　幸音	鳥取県	境港マリンバード	U13
127	新田　千晴	香川県	香川町ハンドボールスポーツ少年団オリーブちゃん	U13
128	藤由　美織	愛媛県	松山市立勝山中学校	U13
129	池畑　圭乃	福岡県	HC 春吉 Jr.	U13
130	田里　優生子	沖縄県	浦添市立仲西中学校	U13
131	根間　紘世	沖縄県	サウスハンドボールクラブ	U13
132	比嘉　聖	沖縄県	コザクラブ jr	U13

C級審判員の目標

C級審判員は，公式試合（ブロック大会レベル）への参加資格が与えられる。ブロック大会は、各都道府県の代表チームの対戦であり、また全国大会の予選会である場合がほとんどである。

そのような公式試合を担当するためには、競技規則に則って試合を運営すること、および試合を運営するための基本となる技術を十分理解し、実践することが求められる。

以下にC級審判員が十分理解し、実践すべき事項について記載する。

<大会への参加>

1） 審判会議、代表者会議に出席し、その大会における申し合わせ事項などの共通認識を図る。
出席にあたっては、ブレザー・ネクタイを着用する。（本協会制定のものを推奨する）

2） 大会審判員としての自覚を持つこと。所属都道府県の応援をしたり、他のレフェリーの批判をしたりするのは慎む。観衆、チーム関係者に見られていることを忘れない。

<試合開始前>

3） トスには指定された時間に両レフェリー・TD が立ち会う。メンバー表、登録証の確認を確実に行う。また、試合開始直前に公式記録用紙に正しく記載されているかどうかを確認する。

4） ユニホームの確認を TD と共にする。判別し難いものは着用させない。チーム役員の服装についても助言する。レフェリーウエアも判別し難い色は着用しない。

5） ウォーミングアップを選手と共にペアで行う。

6） ゴール、コートやボールの点検を行う。

7） オフィシャル席と業務の確認を行うこと。（得点、罰則、時間の管理について）

<試合開始時>

8） メンバーチェックを登録証とともに確認する。

9） 選手入場・挨拶の後、両チーム役員やオフィシャルと挨拶をする。

<試合中>

○得点の管理　時間の管理

10）得点の管理は掲示板が正しく表記されているかどうか得点のたびに厳密に行う。着地シュート等紛らわしい場合、得点が誤って追加されていないか確認する。
また、時間の管理は試合開始時、タイムアウト時、再開時にどちらか一方のレフェリーが公示時計を必ず目視し動作確認をする。

○走法と位置取り

11）CR と GR の基本的な立ち位置や動きを意識する。
CR は判定の後にポイントに素早く移動する。
GR への移動時、バックステップ走法は動きが遅く、非常に危険を伴うため用いない。

12）7mスローの際、コートレフェリーはスローするプレーヤーの利き腕側に立つ。

○判定の手順　ジェスチャー

13）判定の手順を守る。①笛 ②方向指示〔再開方法〕③（必要に応じ）ジェスチャー
競技規則に記載されているジェスチャーを用いる。

○立ち居振る舞い

14）２人のレフェリーは，同じ種類の笛を使用する。長い時間、笛を口に入れたままにならないよう気を付ける。笛を口に入れたままで、プレーを観察することがないように。

○役割分担

15）コートレフェリーは、7m スローを判定しない。

16）コートレフェリーは、ゴールエリアへの侵入（ラインクロス）を判定しない。

○競技規則の正しい運用

17）退場を判定するときは、必ずタイムアウトを取る。

18）指し違えたときは、必ずタイムアウトをとり２人で協議する。

<試合終了後>

19）試合終了の挨拶（両チーム役員・オフィシャル）をして、公式記録用紙に正しく記載されているのを確認後サインする。

20）大会審判長や他のレフェリーに助言を求める。審判手帳に記載する。
審判長に捺印をお願いする。

D級審判員の目標

D級審判員は、公式試合（都道府県大会レベル）への参加資格が与えられる。公式試合を担当するためには、競技規則に従って試合を運営すること、および試合を運営するための基本となる技術を理解し、実践することが求められる。

以下にD級審判員が公認審判員として理解し、実践すべき事項について記載する。

<試合前>

1） 遅くとも、試合開始時刻の１時間前までに会場に到着できるように移動する。

2） 大会本部に挨拶をし、控室にて更衣をするなど準備をする。

3） トスには指定された時間に両レフェリー（および TD）が立ち会う。メンバー表、登録証の確認を確実に行う。また、試合直前に公式記録用紙に正しく記載されているかどうか確認する。

4） ユニホームの確認をする。判別し難いものは着用させない。チーム役員の色についても助言する。レフェリーウエアも判別し難い色は着用しない。

5） ウォーミングアップを選手と共にペアで行う。

6） ゴール、コートやボールの点検を行う。

7） オフィシャル席と業務の確認を行うこと。（得点、罰則、時間の管理について）

<試合開始時>

8） メンバーチェックを登録証とともに確認する。

9） 選手入場・挨拶の後、両チーム役員やオフィシャルと挨拶をする。

<試合中>

○得点の管理　時間の管理

10）得点の管理は掲示板が正しく表記されているかどうか得点のたびに厳密に行う。着地シュート等紛らわしい場合 , 得点が誤って追加されていないか確認する。
また、時間の管理は試合開始時、タイムアウト時、再開時にどちらか一方のレフェリーが公示時計を必ず目視し動作確認をする。

○走法と位置取り

11）CR と GR の基本的な立ち位置や動きを意識する。
CR は判定の後にポイントに素早く移動する。
GR への移動時、バックステップ走法は動きが遅く、非常に危険を伴うため用いない。

12）7m スローの際、コートレフェリーはスローするプレーヤーの利き腕側に立つ。

○判定の手順　ジェスチャー

13）判定の手順を守る。①笛　②方向指示〔再開方法〕③（必要に応じ）ジェスチャー
競技規則に記載されているジェスチャーを用いる。

○立ち居振る舞い

14）２人のレフェリーは，同じ種類の笛を使用する。長い時間、笛を口に入れたままにならないよう気を付ける。笛を口に入れたままで、プレーを観察することがないように。

○役割分担

15）コートレフェリーは、7m スローを判定しない。

16）コートレフェリーは、ゴールエリアへの侵入（ラインクロス）を判定しない。

○競技規則の正しい運用

17）退場を判定するときは、必ずタイムアウトを取る。

18）指し違えたときは、必ずタイムアウトをとり２人で協議する。

<試合終了後>

19）試合終了の挨拶（両チーム役員・オフィシャル）をして、公式記録用紙に正しく記載されているのを確認後サインする。

20）大会審判長や他のレフェリーに助言を求める。審判手帳に記載する。
審判長に捺印をお願いする。

2017年度コーチ・レフェリーシンポジウム開催案内

審判委員長　福島　亮一　　指導委員長　藤本　元

平素は指導委員会ならびに審判委員会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、両委員会共同により、コーチ・レフェリーシンポジウム 2018 を開催することとなりました。日本ハンドボール界発展のために、審判、指導者のみなさまと有益な情報を共有したいと思います。奮ってご参加ください。

テーマ　「モダンハンドボール～これからのハンドボールとは～」

開催日時　2018 年 2 月 17 日（土）9：20 ～ 16：00（9：00 受付開始）

場所　筑波大学　東京キャンパス文京校舎　134 講義室　　東京都文京区大塚 3-29-1

プログラム　2 月 17 日（土）

9:20　開会あいさつ
9:30～11:30　パネルディスカッション「モダンハンドボール～これからのレフェリングの方向性～」
12:40～14:10　IHFシンポジウム報告「モダンハンドボール～これからのハンドボールトレーニングの方向性」
14:20～15:20　世界選手権の検証①～男子世界選手権テクニカルレポート～
15:30～16:30　世界選手権の検証②～女子世界選手権テクニカルレポート～

参加申込　下記の内容を記載しメールでお申込みください。

記載内容：
①氏名（ふりがな）②性別　③年齢　④所属（勤め先または所属チーム）　⑤住所　⑥電話番号
⑦メールアドレス　⑧所有資格名および資格登録番号（日体協公認　上級コーチ・コーチ・上級指導員・指導員）
申込先：指導委員会中央委員会　船木浩斗　メール　h-funaki@sass.chukyo-u.ac.jp
〆切：2018 年 2 月 13 日（火）

参加費　5,000 円（有資格者 3,000 円）　2018 年 2 月 13 日（火）までに下記の口座へお振込みください。
三菱東京ＵＦＪ銀行　渋谷中央支店　　普通　０２０２７１９　（財）日本ハンドボール協会

備考　この講習会は指導者有資格の義務研修となりますので、カードをお持ちください。

問い合せ先　藤本　元（日本ハンドボール協会指導委員長）　TEL:029-853-2714　Mail:fujimoto.hajime.gn@u.tsukuba.ac.jp

平成29年度指導委員会全国会議及び研修会開催のお知らせ

平素は、本協会の指導者育成事業にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、平成 30 年 2 月 17･18 日に指導委員会全国会議及び研修会を下記のように開催いたしますので、各都道府県協会及びブロック協会における指導委員長を派遣下さいますようお願い申し上げます。

日　時　平成 30 年　2 月 17 日（土）全国会議　17：30 ～ 20：00　（受付 17：00 ～）
2 月 18 日（日）研修会　　9：30 ～ 12：00

場　所　筑波大学東京キャンパス文京校舎 118 講義室
〒 112-0012　東京都文京区大塚 3-29-1　http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

会議内容　日体協公認指導者制度の改定にともなう各都道府県協会の業務分掌
指導における暴力・ハラスメントに対応　など

研修内容　指導委員会ビジョン 2020 及び指導者養成システム
“モダンハンドボール” についての正しい理解
IHF コーチシンポジウムの内容

問い合わせ　指導委員長　藤本 元　fujimoto.hajime.gn@u.tsukuba.ac.jp

スコアールーム

第69回日本ハンドボール選手権大会

開催期日：2017年12月19日（火）～24日（日）　会場：田辺中央体育館、生駒市民体育館、八尾市立総合体育館、大阪市中央体育館

【男子】

▼１回戦

福岡大学 34（14－13、20－８）21 HC岡山
大同クラブ 24（11－９、13－14）23 向陵クラブ
北陸電力 35（16－８、19－10）18 EHC
筑波大学 31（17－５、14－10）15 駿河台大学
大阪体育大学 27（17－８、10－12）20 FOG
国士舘大学 40（21－10、19－８）18 SCG
日本体育大学 28（12－12、13－13）27 HC和歌山
2－1、1－1
HC秋田 33（15－11、18－11）22 H.C.Millon

▼２回戦

福岡大学 29（16－７、13－８）15 大同クラブ
筑波大学 24（13－12、12－12）24 北陸電力
国士舘大学 29（15－11、14－11）22 大阪体育大学
日本体育大学 41（25－14、16－17）21 HC秋田

▼３回戦

トヨタ紡織九州レッドトルネード 23（11－12、12－10）22 福岡大学
豊田合成 39（21－12、18－12）24 筑波大学
琉球コラソン 24（10－７、14－12）19 国士舘大学
トヨタ自動車東日本 29（18－13、11－12）25 日本体育大学

▼準々決勝

大崎電気 32（16－13、17－17）30 トヨタ紡織九州レッドトルネード
湧永製薬 26（12－12、14－12）24 豊田合成
トヨタ車体 25（13－12、12－９）21 琉球コラソン
トヨタ自動車東日本 23（８－12、15－９）21 大同特殊鋼

▼準決勝

大崎電気 33（16－６、17－14）20 湧永製薬
トヨタ車体 32（16－７、16－13）20 トヨタ自動車東日本

▼決勝

大崎電気 31（12－９、15－18）30 トヨタ車体
3－1、1－2

【女子】

▼１回戦

中京大学 35（16－７、19－２）９ 北海道倶楽部
東京女子体育大学 38（21－４、17－10）14 天理大学
JJ GANG 31（16－５、15－８）13 HC岡山
香川銀行T・H 27（15－７、12－８）15 県立不来方高校

▼２回戦

北國銀行 31（17－９、14－４）13 中京大学
大阪ラヴィッツ 22（14－11、16－11）22 明光学園高校
ソニーセミコンダクタ 19（19－９、７－８）17 大阪教育大学
三重バイオレットアイリス 27（11－12、16－９）21 東京女子体育大学
オムロン 26（10－７、16－７）14 JJ GANG
大阪体育大学 25（12－８、13－８）16 HC名古屋
飛騨高山ブラックブルズ岐阜 25（10－８、15－８）16 プレステージ・インターナショナルアランマーレ
広島メイプルレッズ 27（13－10、14－10）20 香川銀行T・H

▼準々決勝

北國銀行 28（14－９、14－11）20 大阪ラヴィッツ
三重バイオレットアイリス 26（14－10、12－13）23 ソニーセミコンダクタ
オムロン 23（11－14、12－８）22 大阪体育大学
広島メイプルレッズ 24（14－６、10－６）12 飛騨高山ブラックブルズ岐阜

▼準決勝

北國銀行 25（14－８、11－８）16 三重バイオレットアイリス
オムロン 19（13－６、６－12）18 広島メイプルレッズ

▼決勝

オムロン 20（12－９、７－11）19 北國銀行

スコアールーム

第26回JOCジュニアオリンピックカップ

開催期日：2017年12月23日（土）～27日（水）　会場：浦添市民体育館・沖縄県立武道館

【男子】

▼予選A組

愛知 19（10－６、９－11）17 群馬
群馬 21（12－８、９－11）19 岡山
愛知 21（10－11、11－８）19 岡山

▼予選B組

大阪 24（13－11、11－５）16 岩手
富山 28（17－５、11－５）10 岩手
富山 22（11－８、11－14）22 大阪

▼予選C組

熊本 27（14－13、13－11）24 宮城
埼玉 35（16－８、19－18）26 熊本
埼玉 32（20－７、12－８）15 宮城

▼予選D組

北海道 20（10－４、10－８）12 滋賀
沖縄 25（14－６、11－６）12 滋賀
沖縄 25（10－９、15－11）20 北海道

▼予選E組

福岡 19（11－３、８－10）13 兵庫
茨城 29（17－９、12－８）17 兵庫
茨城 21（12－８、９－11）19 福岡

▼予選F組

高知 28（15－12、13－16）28 福島
浦添 31（16－８、15－12）20 福島
浦添 37（20－９、17－15）24 高知

▼予選G組

福井 30（14－９、16－14）23 三重
宮崎 21（13－７、８－11）18 三重
福井 32（16－９、16－12）21 宮崎

▼予選H組

広島 25（14－16、11－５）21 東京
東京 29（11－７、18－７）14 長崎
広島 35（14－６、11－16）22 長崎

▼決勝トーナメント

愛知 22（12－５、10－10）15 富山
埼玉 24（13－13、11－５）18 沖縄
茨城 21（９－９、12－９）18 浦添
広島 27（11－14、16－12）26 福井

▼準決勝

愛知 20（８－10、12－８）18 埼玉
広島 29（14－11、15－14）25 茨城

▼決勝

愛知 23（14－12、９－６）18 広島

【女子】

▼予選ａ組

大分 18（11－３、７－７）10 神奈川
神奈川 22（10－３、12－３）６ 宮城
大分 23（14－２、９－12）14 宮城

▼予選ｂ組

福岡 15（７－７、８－３）10 山口
福岡 20（８－６、12－７）13 京都
京都 19（７－13、12－６）19 山口

▼予選ｃ組

愛知 16（11－７、５－９）16 浦添
香川 20（11－８、９－９）17 浦添
愛知 17（10－６、７－８）14 香川

▼予選ｄ組

東京 38（19－７、19－５）12 和歌山
福井 23（11－６、12－６）12 和歌山
東京都 31（14－８、17－11）19 福井

▼予選ｅ組

沖縄 23（10－９、13－９）18 岩手
沖縄 26（11－９、15－12）21 三重
岩手 20（６－６、14－９）15 三重

▼予選ｆ組

富山 28（15－９、13－17）26 埼玉
埼玉 28（11－10、17－７）17 鹿児島
富山 23（13－10、10－10）20 鹿児島

▼予選ｇ組

愛媛 18（10－７、８－10）17 北海道
熊本 33（16－５、17－11）16 愛媛
熊本 24（10－６、14－５）11 北海道

▼予選ｈ組

大阪 18（８－７、10－４）11 岡山
岡山 19（９－７、10－11）18 千葉
大阪 27（16－９、11－８）17 千葉

▼決勝トーナメント

大分 22（13－７、９－３）10 福岡
東京 20（９－８、11－10）18 愛知
沖縄 21（11－９、10－６）15 富山
大阪 20（11－７、９－12）19 熊本

▼準決勝

大分 24（10－13、14－８）21 東京
沖縄 17（11－４、６－９）13 大阪

▼決勝戦

大分 19（９－10、10－８）18 沖縄